

USHIOEMINAMI

うしお えみなみち いき けいかく
潮江南地域コミュニティ計画

2023~2027

うしお えみなみち いき れんごう かい
潮江南地域連合会

きく せい れいわ ねんご
作成：令和4年度

も く じ 目 次

第1章 はじめに	1
----------------	---

第2章 けい かく ほん べん 計画本編

1 <small>けい かく こう そう</small> 計画の構想	2
2 <small>けい かく</small> 計画のスケジュール	4
3 <small>けい かく ない よう</small> 計画内容	5
4 <small>けい かく たい けい</small> 計画の体系	20

第3章 し りょう へん 資料編

1 <small>けい かく</small> コミュニティ計画について	22
2 <small>うし お え みなみ ち い き はい けい</small> 潮江南地域の背景	26
3 <small>うし お え みなみ ち い き げん じょう</small> 潮江南地域の現状	28
4 <small>うし お え みなみ ち い き けい かく</small> 潮江南地域コミュニティ計画のあゆみ	30
5 <small>うし お え みなみ ち い き しゅう けい けつ か</small> 潮江南地域アンケートの集計結果	46



「みんながハッピーで笑顔
あふれる未来のまち！」

潮江南地域は、2023年(令和5年)に創立50周年を迎えた「高知市立潮江南小学校」を中心に、「夏まつり」「区民運動会」「餅つき」「防災活動」など様々な活動を行っています。

「潮江南夏まつり」で例を挙げますと、約40年前から開催され様々なブラッシュアップを行いつつ、現在は小学校PTA役員を中心に青少年育成協議会、体育会、そして地域の町内会などが力を合わせ、子どもたちの為に楽しい祭りを開催しています。なかでも、ファイナーシを飾るナイアガラ花火は、子ども達だけではなく大人までも笑顔にする“地域のチカラ”の象徴のようなものです。

潮江南地域連合会は、2016年度(平成28年度)に地域コミュニティや地域活性化の共通課題を解決するために小学校区内に所属している諸団体を集めて組織された会です。上記のように、この地域ではすでに基本となるコミュニティは形成されており、皆さんの理解も得やすくスムーズに立ち上げる事が出来ました。

今回、策定しました「潮江南地域コミュニティ計画」では、いろいろな基本目標を立て事業を展開していきます。しかし中心にあるのはやはり子ども達だと思っております。

子どもの笑顔のないまちに明るい未来はやって来ず、子どもを笑顔にしてあげられない地域では誰もが不安になっていくはずです。

諸先輩方が先に挙げた活動を行い、当時子どもだった人達が笑顔の記憶と共に親となり、その子ども達が今、地域の小学校に通っている。そんな人達が沢山います。これこそ継続・発展するべき大事な事例だと思います。

改めて始まるこの計画ですが、先輩方の想いを引き継ぎ進めていき、次代に繋げていけるよう力を合わせていけたらと願っております。

潮江南地域連合会(通称:みなみ連合)
会長 富永 栄司



「潮江南コミュニティ計画」
の策定にあたって

このたび、市民と行政の協働により「みんながハッピーで笑顔あふれる未来のまち!」を将来像とした「潮江南地域コミュニティ計画(以下、「第1期計画」)」を策定いたしました。策定にあたりましては、ご協力いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。

本市では、地域内連携協議会がその活動に計画性と実行性を持ち、将来にわたって持続的なまちづくりを行っていくための指針として、「コミュニティ計画」の策定を推進しております。

潮江南地域においては、潮江南地域連合会(通称:みなみ連合)が中心となり、第1期計画の策定に取り組んでいただきました。

第1期計画の策定にあたっては、住民の皆様の意見を反映するためのアンケート調査や、子どもたちの意見を反映させるため、潮江南小学校の協力のもと開催された子ども会議、地域フォーラム(コミュニティ計画策定会議)などを重ねることで、子どもからご高齢の方まで幅広い年代の方々からご意見をいただきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行と重なり、大変ご苦労されたことと思えます。

第1期計画では、長期休暇中の小学生の居場所づくりのために始まった、みなみ食堂(子ども食堂)の開催を継続させ、子育て環境の向上を目指すことや、地域内の情報が幅広く行き届いていないという課題に対しては、SNSを開設し、広報力を強化するなど、地域主体の取り組みが多く盛り込まれており、今後の地域の活動計画として役割を果たすものとなっています。

本市といたしましても、第1期計画の実現に向けて、地域の皆様とともに力を合わせて、取り組んでまいります。

潮江南地域の皆様におかれましては、本計画をご覧いただき、多くの方が潮江南地域のまちづくり活動にご参加いただきますよう、心からお願い申し上げます。

高知市長 岡崎 誠也

り ねん
理念



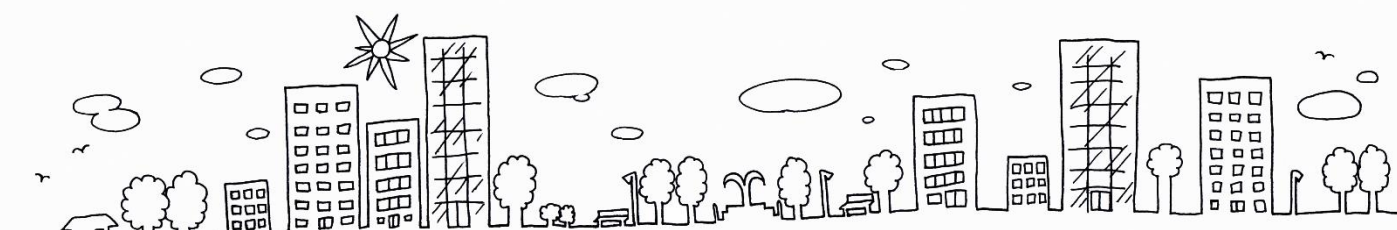
うしお えみなみち いき せいちょう
潮江南地域は、子どもたちの成長、大人の安心、

こう れい しゃ きず じゅうみん どう し
高齢者の生きがい、地域が築き上げてきた住民同士の

ささ けいぞく とも せいちょう
助け合い・支え合いを継続させ、地域も共に成長します。

たが じょうほう きょうゆう こ せい
そして、互いに地域の情報を共有し、地域の個性を

す ゆた
活かした、住みよい豊かな地域づくりを目指します。



しょうらいぞう
将来像

え がお
みんながハッピーで笑顔あふれる**未来**のまち!

きほんもくひょう
基本目標

でんとう
文化や伝統を
大切に
するまち

つづ
安心して
住み続け
られるまち

子どもから
大人まで
地域で
ささ
支え合う
まち

潮江南地域連合会では、地域の各種団体の連携による事業を6つの柱に分けています。
そして6つの柱を軸とした事業展開で、基本目標の達成に取り組めます。

子どもたち(地域)の学習・生活支援

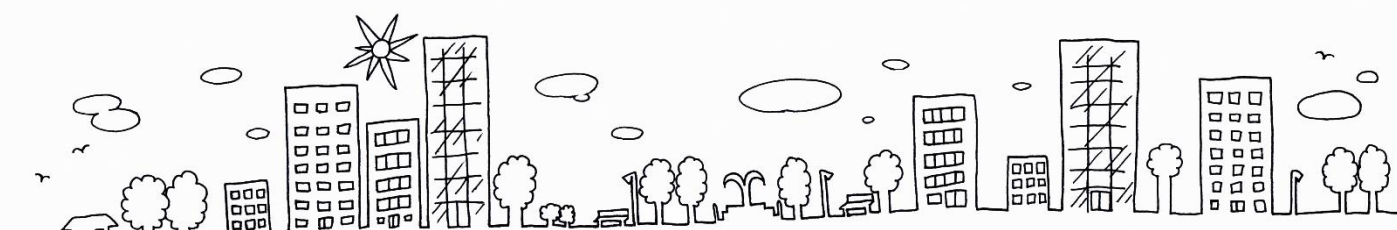
かんきょうせいび(自然)
環境整備(自然)

ちいきかくしゅだんたい
地域住民の健康増進

地域安全

ちいきこみゆにてい
地域のコミュニティの強化

ちいきぼうさい
地域防災の取り組み



2

けい かく
計画のスケジュール

事業分類		取り組み事業					掲載ページ
大分類(柱)	小分類	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
<p>01</p> <p>子どもたちや地域の学習・生活支援</p>	地域の保育園・幼稚園や子育て支援センターなどの連携	<p>みなみ連合を中心に地域へ情報提供</p> <p>→ 小学校と連携し、子育て支援の課題などの情報共有の実施</p>					<p>6ページ 7ページ</p>
	みなみ食堂の発展	<p>みなみ食堂の継続</p> <p>→ みなみ食堂の認知度を上げる(広報活動の実施)</p> <p>→ 期限切れ間近の防災備蓄食料を活用した食事提供の検討</p>					
	子どもの居場所づくり	<p>子どもが集まれる場所(イベントなど)の開催</p> <p>→ 目的にあった小規模なサロンの実施</p>					
	みなみ学習の発展	<p>みなみ学習の継続</p> <p>→ 学生ボランティアの受け入れ</p>					
	小学校との連携強化	<p>コミュニティ・スクールなどを通して、子どもたちのよりよい成長をめざす</p>					
<p>02</p> <p>環境整備(自然)</p>	美化活動	<p>ポイ捨ての現状把握・ゴミの整理などをしてきている人がいることの周知</p> <p>→ スポーツゴミ拾いの実施</p> <p>→ 公園めぐり(潮江南小学校の授業)に地域住民も参加し、ゴミの分別についての理解を深める</p> <p>→ 美化活動の実施(環境選隊グリーンレンジャーを招く)</p>					<p>8ページ 9ページ</p>
	野生生物などの学習	<p>高見山などの植生調査の実施</p> <p>→ 地域全体で地域猫への理解を深める</p>					
<p>03</p> <p>高齢者が安心して住めるまちづくり</p>	地域の見守り	<p>→ 民生委員と町内会の情報共有に協力</p> <p>→ 運動イベントの開催(ポッチャなど)</p> <p>→ ニーズに合わせた多様な地域サロンの実施</p> <p>→ 高齢者の想いを聞き取り、近所で顔の見えるまちづくり活動の実施</p> <p>→ 障がい者への理解を深める、障がいを理解する</p>					<p>10ページ 11ページ</p>
	潮江南地域(オリジナル)体操で活性化	<p>→ 地域体操で健康増進</p> <p>→ 潮江南地域のラジオ体操として、地域で普及させる</p>					
	百歳体操・ラジオ体操などの推進	<p>→ ラジオ体操などの合同開催の検討</p> <p>→ ご高齢の方(特に独居の方)に情報提供・百歳体操などへ参加を促す</p> <p>→ 体操参加スタンプの作成</p> <p>→ 潮江音頭の活用</p>					
<p>04</p> <p>地域安全</p>	地域の安全確保	<p>→ ブロック塀の対応(公共道路沿い)の検討</p> <p>→ 側溝整備の取り組みの検討</p> <p>→ 地域の防犯カメラ設置に関する取り組みの検討</p> <p>→ 自転車置き場を作る(公園内など)</p> <p>→ 公園掲示板の作成</p> <p>→ 公園マナーの周知(公園掲示板など)</p> <p>→ 新たな遊具の設置</p> <p>→ 空き家対策の取り組みの検討</p> <p>→ 路地の街路灯などの整備に関する取り組みの検討</p> <p>→ 地域の困りごとに対応できる高知市所管課や支援先の連絡先をリスト化 掲示板やみなみ連合HPなどで周知</p>					<p>12ページ 13ページ</p>
	見守り隊との連携など	<p>→ 地域で子どもからお年寄りまで見守って(夜間/トロール)</p> <p>→ 子供110番の家の推進</p>					

事業分類		取り組み事業					掲載ページ		
大分類(柱)	小分類	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)			
つなごりの強いまち 地域コミュニティの強化	05 世代間交流する場づくり	夏まつりへの協力	地区運動会との連携				14ページ 15ページ		
		潮江南小学校50周年記念事業への協力	世代を超えたイベント「ポッチャ大会」などの検討						
		新年度の地域交流会(各団体の総会、歓迎会)へ出席							
		コミュニティイベントの推進	BBQ、もちつき大会、獅子舞い、くじ引き大会の再開						
		各種イベントへ外国人の方の参加を促す	山登りイベントの実施						
	社会資源の発掘	資源の発掘(人、もの・・・)を行う(地域人材紹介イベント)							
	06 防災に強いまち 地域防災の取り組み	事前の備え	防災意識の啓発	防災訓練・講演会などの開催					16ページ 17ページ
			「自分で備える」啓発	住宅の耐震化・家具の転倒防止対策の実施					
			津波避難	避難場所・経路の改善	避難路の危険箇所の点検・各種防災マップの回覧				
		避難意識の改善	子どもの防災教育の強化・防災情報の周知・防災訓練の実施						
避難後の生活		災害時の連絡手段の確保	避難生活に向けた備え	防災訓練の実施(イベントとの組合せ・夜間訓練など)・高齢者に向けた防災情報の周知					
地域の防災活動	防災情報の広報の強化					18ページ 19ページ			
	質の高い訓練の実施	幅広い世代が参加する訓練の実施(炊き出し・BBQ・懇親会など)							

3

けい かく ない よう
計 画 内 容

アンケートや潮江南地域フォーラムなどの実施により、潮江南地域の人や自然、文化など様々な魅力が明らかになりました。一方で、解決すべき課題も見えてきました。

これらを踏まえ、これからの潮江南地域が「みんながハッピーで笑顔あふれる未来のまち!」であり続けるために、今後5年間、住民主体で取り組む内容をまとめました。

計画内容は、次のページへ レッツゴー



01 安心して子育てできるまち

アンケートと子ども版コミュニティ計画から
見えてきた課題・魅力

子育て支援センターについて

- ・コミュニケーションが取りにくい、1人で行きにくい
- ・知名度が低い（何をやっていて、だれが参加できるかわからない）
- ・紙での広報に限界を感じている（広報力が足りない）
- ・みんなの興味が薄い
- ・携帯で知ったという声が多い
- ・参加していない理由は知らない・きっかけがないことが多い
- ・勝手に情報が入るようにしてほしい

みなみ食堂・子どもサロン

- ・みなみ食堂の利用・申込などの方法についてあまり知られていない
- ・「いつ」・「どこで」などの情報を知らない
- ・一部の子どもにしか情報が伝わっていない
- ・みなみ食堂があることで、親は助かり、子どもは喜んでいる
- ・子どものためのサロンがほしい

子育て支援

- ・放課後学習教室に小1～小3も入れて、夏休み期間中も放課後学習教室を全学年で実施してほしい
- ・育児に係る費用が高い

※第1回潮江南地域フォーラムより

取り組むべきこと

地域の保育園・幼稚園などとの連携

- ・園庭を開放する
- ・リモート交流を実施する
- ・子育てに関する施設の情報を地域の広報紙に掲載する

広報力向上

→つながりの強いまち【広報事業】へ

みなみ食堂の継続

子どもサロンの実施

- ・子どもサロンを開設する
- ・公民館などで駄菓子屋を開き、地域の人々が集まる場を作る
- ・子どもたちの意欲が出る取り組みやイベントを開催する

みなみ学習

小学校との連携

- ・学校の校庭を夕方や休日に開放する

※第2回潮江南地域フォーラムより

取り組みのサポート

子育てに関する支援

- ・子育てサロンに対して、高知市社会福祉協議会や母子保健課と連携した相談支援や、広報活動に協力します。
【子ども育成課 088-823-9482】
- ・子育てサロンへの保健師の派遣や対象となる母子への周知などに協力します。
【母子保健課 088-855-7795】

コミュニティ・スクールについて

- ・コミュニティ・スクールによる保護者や地域住民などの学校運営の参画や、支援・協力を促進し、信頼関係を深めることで、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んでいます。
【学校教育課 088-823-9479】

く たい て き し ぎ ょう け い か く
 具体的な事業計画

ほ い く えん よう ち えん こ そ だ し えん れん け い
 地域の保育園・幼稚園や子育て支援センターなどとの連携

- 地域の情報についてみなみ連合が中心に情報提供していく
- 小学校を含めて交流・連携し、子育て支援の課題などの情報共有を行う



し ょ く ど う は っ て ん
 みなみ食堂の発展

- みなみ食堂を継続していく
- みなみ食堂があることを地域住民に認知してもらうために広報をしていく
 → (つながりの強いまち【広報事業】と一緒に実施)
- 期限切れ間近の防災備蓄食料を活用していくことを検討する



い ば し ょ
 子どもの居場所づくり

- 子どもが集まれる場所 (イベントなど) をさらに開催していく (ハイキング、植生調査、清掃活動、学習系 など)
- 目的にあった小規模なサロンを実施する



は っ て ん
 みなみ学習の発展

- みなみ学習を継続していく
- 学生ボランティアの受け入れをする



れん け い き ょう か
 小学校との連携強化

- コミュニティ・スクールなどを通して、地域と小学校が連携し、協働して子どもたちのよりよい成長をめざす



※第3回潮江南地域フォーラム・検討会より

もくひょう
 目標

- 地域と学校などが相互に情報共有を行う
- みなみ食堂などの事業を継続する

→安心して子育てできるまちへ



02 しぜん うつく 自然にやさしく美しいまち

アンケートと子ども版コミュニティ計画から
見えてきた課題・魅力

取り組むべきこと

ゴミ・美化

- ・ゴミ出しのルールを守れていない人がいる（前日の夜中に出すなど）
- ・地域外の人が道端にゴミを捨てる
- ・自動販売機のゴミ箱に家庭ゴミの缶を捨てている人がいる
- ・用水路に不燃ゴミがたまる
- ・公園が汚い（ゴミが多い）
- ・花がきれいに咲いている
- ・以前は親水公園にサンショウウオがいた
- ・親水公園を利用する人が少ない

※第1回潮江南地域フォーラムより



美化活動

- ・清掃などを行い、ゴミを捨てにくい環境を作る
- ・ゴミ拾い+山登りなどで景品をもらえるような活動を行う
- ・公園づくりとして花の種まき後、手入れを行う
- ・地域と学校PTAが地元、地区ゴミ拾いを開催する
- ・スポーツゴミ拾いの実施
- ・集団ゴミ拾い（BGMを流して楽しく行う）
- ・一緒に公園めぐり

野生生物などの学習

- ・生き物の食、排せつ物、生態を学べる場を設ける
- ・環境調査を行い、自然環境と居住環境の調和を図る

※第2回潮江南地域フォーラムより

取り組みのサポート

環境美化活動への支援

- ・地域が一体となって行う清掃活動などに、ゴミ袋の提供や火バサミの貸与などを行います。【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】
- ・地域が一体となって行う清掃活動については、事前に登録していただくことで、ゴミ収集を行います。また、地域から依頼があれば出前講座・啓発活動（環境選隊クリーンレンジャーなど）の職員派遣を行います。【環境業務課 088-856-5374】
- ・公園愛護会などが行う公園の草刈りで出た草は、みどり課で回収作業を行っています。【みどり課 088-823-9469】
- ・猫による生活環境被害を防ぐため、猫を適正管理（不妊去勢手術、地域での見守りなど）する地域猫活動を支援します。ボランティアとともに地域の説明会などに参加、活動の助言や町内会への活動費の一部助成をしています。【生活食品課 088-822-0588】

く たい てき じ ぎょう けい かく
 具体的な事業計画

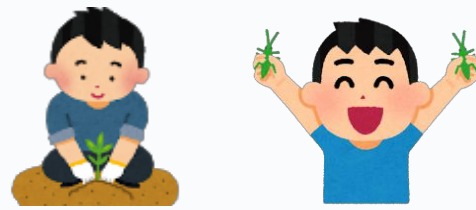
美化活動

- ・ポイ捨ての現状や、ゴミの整理などをしてきている人がいることを周知する
 →ポイ捨てや清掃の写真を活用する
- ・スポーツゴミ拾いを実施する
 (ゴミ拾いに遊び要素を追加)
- ・潮江南小学校の授業で行う公園めぐりに地域の大人も参加し、ゴミの分別について理解を深めていく
- ・地域美化活動グループとして美化活動を行う
 (環境選隊クリーンレンジャーを招き周知する)
 →既存の公園などの美化活動への協力や
 新たな美化活動を実施する



野生生物などの学習

- ・高見山などで植生調査を実施する
- ・地域全体で地域猫の理解を深めていく

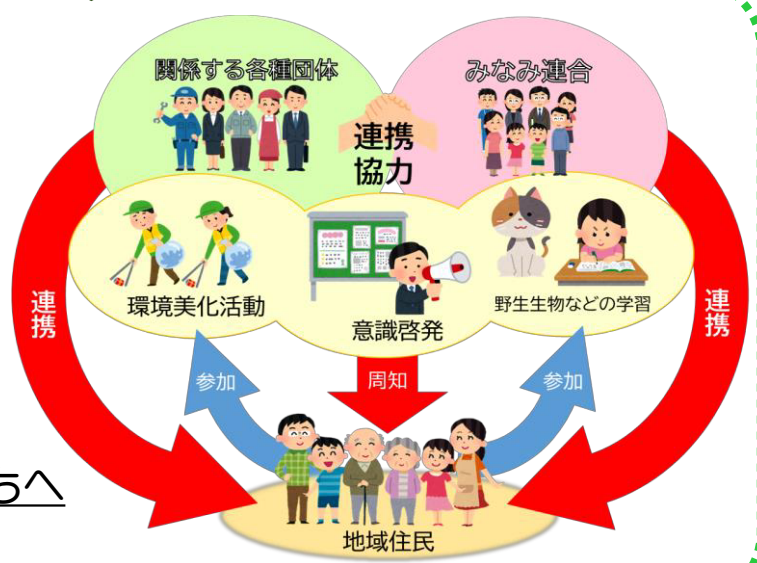


※第3回潮江南地域フォーラム・検討会より

もくひょう
 目標

- ・自然などの環境整備にかかわる地域活動団体の連携を目指す
- ・美化活動を継続する
- ・イベント型の美化活動を実施する
- ・美化活動へ積極的に参加する

→自然にやさしく美しいまちへ



アンケートと子ども版コミュニティ計画から
 見えてきた課題・魅力

見守り

- ・高齢者を周りの人が気にかけている
- ・見守りボランティアに感謝
- ・住んでいる人の顔が見える
- ・独居老人が多く、一人であることが多い
- ・青年部と行政が連携して独居高齢者の見守り巡回をしてほしい

居場所づくり

- ・高齢者の集まれる施設がない
- ・地元を歩くイベントで参加者と話す際、地域のことをよく知ってて驚いた
- ・高齢者の居場所がほしい
- ・高齢者と子どもがつながる場所がほしい（訪問や見守り）

ラジオ体操

- ・百歳体操を続けてほしい
- ・高齢者と子どもと一緒にラジオ体操をしたい

※第1回潮江南地域フォーラムより

取り組むべきこと

見守り活動

- ・認知症で曜日が分からない方に教えてあげる
- ・声掛けをしながら独居高齢者の家を訪問する
- ・お年寄りへの手助け、かかわり方について学んでもらう
- ・高齢者、子どもとのかかわり方、福祉や介護の仕事などを知る
- ・いるかひろばで見守りボランティア

交流のできる場所をつくる

- ・冬まつりを実施して交流を深める
- ・子どもも大人も含む実行委員会を立ち上げる
- ・寄付金を集める
- ・高齢者と若者で交換日記をする
- ・高齢者施設と交流する場を設ける（新型コロナウイルス感染症がおさまれば…）
- ・町内会・敬老会で行事を行う

新・ラジオ体操

- ・ラジオ体操を合同開催する（町ごとに分かれて数日しかやっていないので、学校でまとめてできればいいのではないか）
- ・百歳体操を1週間に数回行う
- ・体操を高齢者と子どもと一緒に行う
- ・『潮江音頭』をもっと活用する

※第2回潮江南地域フォーラムより

取り組みのサポート

見守り支援

- ・地域のなかで徒歩圏内に「いきいき百歳体操」が開設できるよう新規立ち上げ支援などを実施しています。また、地域ニーズの把握から、高齢者の見守り支援（居場所づくりなど）の立ち上げに対しても支援を行います。

【基幹型地域包括支援センター 088-823-9121】

- ・いきいき百歳体操やボランティア活動を行った際にポイントが貯まり、貯まったポイントに応じて商品券などに還元することができる「笑顔マイレージ」に取り組んでいます。

【高知市社会福祉協議会 地域協働課 088-823-9570】

く たい てき じ ぎょう けい かく
具体的な事業計画

地域の見守り

- 民生委員と町内会がさらに情報共有するために協力する
- 運動イベントを生きがいにするための活動を行う
 → (つながりの強いまち【世代交流する場づくり事業 (世代を超えたイベント)】と一緒に実施)
- ニーズに合わせた多様な地域サロンを実施する
- 高齢者がどう思っているかご近所で双方向に理解して、顔の見えるまちづくりのための活動を行う
- 障がい者への理解を深める、障がいを理解する



たいそう かつせい か
潮江南地域 (オリジナル) 体操で活性化

- 自らの健康を高めると同時に地域への愛着を育てる
- 潮江南地域への愛情を感じられるような地域体操などを普及することで地域の活性化を定着させる



ひゃくさいたいそう たいそう すいしん
百歳体操・ラジオ体操などの推進

- ラジオ体操や百歳体操などを潮江南地域で合同開催することを検討する
- ご高齢の方 (特に独居の方) に情報を伝え、百歳体操などの参加を促す
 → (つながりの強いまち【広報事業】と一緒に実施)
- 体操に参加することにももらえるスタンプを作成する (達成すれば景品がもらえる)
- イベントなどで潮江音頭を活用し、高齢者の居場所づくりにつなげる
 → (つながりの強いまち【世代間交流する場づくり事業 (夏まつり)】と一緒に実施)

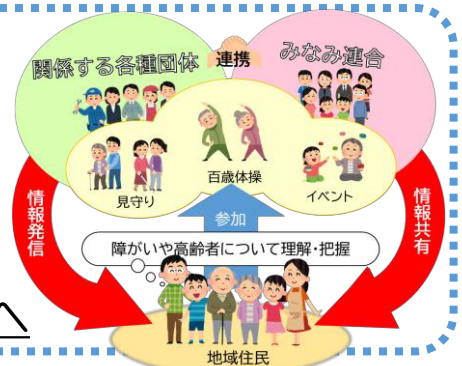


※第3回潮江南地域フォーラム・検討会より

もくひょう
目標

- 地域住民の健康増進にかかわる地域活動団体との連携
- 見守り活動の参加者を増やす
- 体操で健康増進

→ 高齢者・障がい者も安心して住めるまちへ



04 安全に守られているまち

アンケートと子ども版コミュニティ計画から 見えてきた課題・魅力

公園

- ・竹島公園の自転車の止め方が良くない
- ・道路上に車が多く停まっている
- ・公園を利用する人が少ない（子どもの遊び方の変化）
- ・安全で楽しく遊べる場がほしい
- ・アスレチックがある公園がほしい
- ・不審人物への不安

道路・交通

- ・ミラーや街路灯などが少ない
- ・道が整備されていないため歩きにくい
- ・公共交通機関の路線の乗り降りが不便
- ・竹島公園周辺の道が狭い
- ・六泉寺団地に街路灯がなく、六泉寺川にかかる橋のガードレールが低く、子どもが落ちそう

ぼうはん 防犯

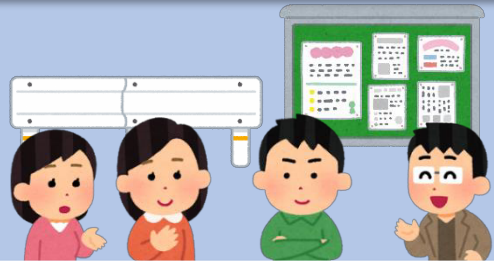
- ・不審人物への不安がある（こどもの安全面）
- ・遊具や樹木への破壊行為（いたづら）

※第1回潮江南地域フォーラムより

とく 取り組むべきこと

きせい かんわ 規制を緩和する？

- ・公園での遊び方に規制が多いので規制を緩和する
- ・規制緩和と遊び方へのルールづくり



道路・交通

- ・バリアフリー化されているまちを目指す
→インクルーシブなまちづくり

インクルーシブとは「包括的なさま」や「全てのものを含んでいるさま」の意味を持つ言葉です。

ぼうはん 防犯

- ・竹島公園や鳩ヶ崎公園などの地域の公園を警察に巡回してもらう

※第2回潮江南地域フォーラムより

取り組みのサポート

公衆街路灯に関する支援

- ・町内会等が設置・管理する公衆街路灯について、LED灯の新規設置及びLED灯への灯具取替に要する費用や電気料の一部を補助します。

【くらし・交通安全課 088-823-9487】

地域の困りごとに対する支援

- ・地域の身近な相談窓口として、「ほおっちょけん相談窓口」を設置し、地域の潜在的な福祉ニーズに対応していきます。

【地域共生社会推進課 088-821-6513】

公園整備に関する支援

- ・要望をもとに公園の遊具の整備などを行います。

【みどり課 088-823-9469】

子供110番の家に関する支援

- ・子供110番の家に掲示する「それいけ！アンパンマン」の標章の配布、マニュアルに基づく活動要領の教示、警察官の随時立ち寄りによる情報発信などを行っています。

【高知県警察 088-826-0110】

具体的な事業計画

地域の安全確保

- 公共道路沿いのブロック塀の対応を検討する
- 側溝整備の取り組みを検討する
- 地域の防犯カメラ設置に関する取り組みを検討する
- 自転車置き場を作る（公園内など）
- 公園掲示板を作る
- 公園マナーを公園掲示板などで周知する
→（つながりの強いまち【広報事業】と一緒に実施）
- 新たな遊具を設置する
- 空き家対策の取り組みを検討する
- 路地の街路灯などの整備に関する取り組みを検討する
- 地域の困りごとに対応できる高知市の所管課や関係機関の連絡先をリスト化し、掲示板やみなみ連合ホームページなどで周知する



見守り隊との連携など

- 地域で子どもからお年寄りまで見守っていく（夜間パトロール）
- 子供110番の家の取り組みを推進する

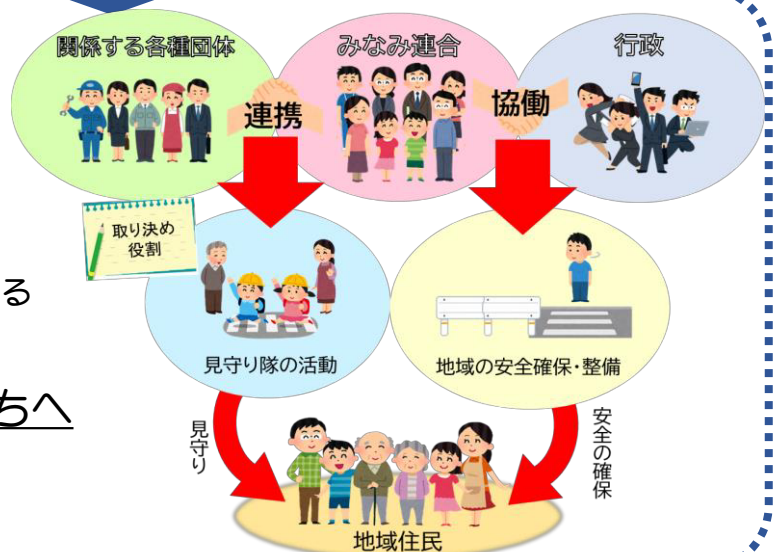


※第3回潮江南地域フォーラム・検討会より

目標

- 誰もが住みやすいまちになるために検討を続ける
- 地域住民の要望を把握する
- 道路交通に関するマナーを周知する

→安全に守られているまちへ



05 つながりの強いまち

アンケートと子ども版コミュニティ計画から
見えてきた課題・魅力

つながり

- ・駄菓子屋が少なくなった
- ・子どもと話す機会、異世代間での交流が少なくなった（交流する場所）
- ・高齢者の集まれる施設がない
- ・独居高齢者が多く、一人でいることが多い
- ・多世代が交流できる場所をつくりたい
- ・子どもと地域の住民が一緒に集まる場所がほしい

居場所づくり

- ・住んでいる人の顔が見える
- ・保育園、保護者会、小学校のつながりが強い
- ・地域に住んでいる外国の方とのコミュニケーションが難しい
- ・学校行事への地域の方の協力がすごい
- ・イベント運営の歴史がある
- ・年々保育園に来てくれる地域の人が減少している
- ・区民運動会、夏まつりなどは認知度・参加率が全世代で高い
- ・イベント運営の歴史をつなげていきたい
- ・夏まつりに地域内の大学生が参加してほしい
- ・地域の良い所を学び、仲間と知り合う場を学校を超えて設けたい

※第1回潮江南地域フォーラムより

取り組むべきこと

世代間交流する場づくり

- ・世代間交流できるようなふれあいの場をつくる
→子どもがデイサービスに行く機会を作る
→子どもと一緒に活動できる場を作る
- ・子どもからお年寄りまで集まれる場を作る
→地域サロンの開設（交流、学びの場）
- ・ゲートボール、ラジオ体操などのイベントに子どもも参加する

イベントの実施

- ・子どもが主体のイベントを開催する
- ・夏まつりを開催する
- ・BBQ、もちつき大会の開催（地域や各町内会などで開催するなど）
- ・ホテルを見るにも校区で連携して情報共有し、多数のイベントが重複しないようにする

広報力向上

- ・SNSでの周知、イベントなどで参加してくれた方に広報の仕方を聞き、若い人達で実践する（Twitter、Instagramなど）
- ・回覧板で周知する
- ・会報で周知する

※第2回潮江南地域フォーラムより

取り組みのサポート

地域行事に対する支援

- ・地域内連携協議会に対して、運営・活動の補助を行っています。また、地域コミュニティ推進課ホームページで、毎月月初旬に地域イベント情報を掲載しています。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】

情報発信に対する支援

- ・高知市公式LINEアカウント内に、地域内への行事等の情報発信を行うための環境整備を行います。

【広聴広報課 088-823-9446】

く たい て き し ぎょう けい かく
 具体的な事業計画

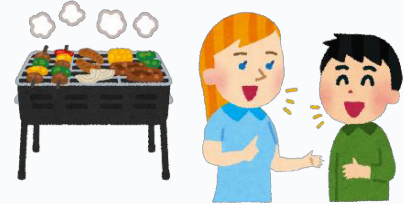
世代間交流する場づくり

- ・夏まつりに協力する
 →潮江音頭を活用する
- ・地区運動会と連携する
 →子どもが企画段階から参加
- ・潮江南小学校50周年記念事業に協力する
- ・世代を超えたイベントとして、生涯スポーツ・生涯レクリエーションなどを検討する
- ・新年度の地域交流会などへの顔だしをする (各団体の総会、歓迎会)



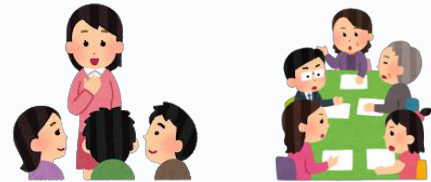
コミュニティイベントの推進

- ・BBQ、もちつき大会、獅子舞い、くじ引き大会などを再開する (本テーマ【広報事業】と一緒に実施)
- ・各種イベントへ外国人の方にも参加を促す
- ・山登りを実施する



しゃ かい し げん
 社会資源の発掘

- ・資源の発掘 (人、もの・知識・経験) を行う (地域の人材紹介イベントを開催する)



こう ほう
 広報事業

- ・潮江南新聞を発行する
- ・一覧で各団体の情報を見れるマップ及び冊子を作成する
- ・SNSを開設し、情報発信を行う
- ・情報を1つに集約したコミュニティカレンダーを作成する



※第3回潮江南地域フォーラム・検討会より

もく びょう
 目標

- ・世代間交流する場を作っていく
- ・コミュニティイベントを再開し、以前の活気を取り戻す
- ・新たな人材を発掘し、持続可能な地域社会を目指す
- ・広報事業を行い、活動の周知など多岐にわたる活動に役立てる

→つながりの強いまちへ



06 防災に強いまち

アンケートと子ども版コミュニティ計画から
見えてきた課題・魅力

防災意識が低い

・各々防災意識に温度差がある

備えができていない

《備蓄などの備えが不安》

・非常持ち出し袋を準備していない人が全体の54%

《耐震化などの備えが不安》

自宅を耐震化できていない人が全体の52%

避難場所に不安がある

《避難場所を知らない！》

・より近い避難場所があるが遠い避難場所を選ぶ人がいる

《避難場所が不安！》

・山崩れや土砂災害が心配

避難経路に不安がある

・道が狭い、ブロック塀、急斜面の木々の問題、夜間は暗い

要配慮者の避難が困難

緊急時の連絡手段がない

避難生活での不安

《長期浸水を知らない？》

《避難所生活が不安！》

・避難所で不安なこと

1位「物資の供給」277回答

2位「プライバシー確保」201回答

3位「要配慮者支援」144回答

《避難所に行きたくない？》

※第1回潮江南地域フォーラムより

取り組むべきこと

防災意識を啓発する

・子どもから親へ啓発する仕組み作り

「自分で備える」啓発

《備蓄などの備え啓発！》

・防災食のリストアップがあれば備えを用意しやすい

《耐震化などの備え啓発！》

・住宅耐震・家具転倒防止対策に対して高知市の補助の認知が低いため広報が必要

避難場所・経路の改善

《避難場所・経路の啓発！》

・防災マップを色んな場所に貼る

《避難場所を増やす！》

避難意識の改善

《『自分』の避難を考える！》

・シミュレーションの実施（避難にどのくらいかかるか計測する）

《『地域』の避難を考える！》

・個別訪問などの実施

⇒他地区での要支援者対策の取り組みを参考

災害時の連絡手段を確保！

《地域を活かした連絡手段》

・災害時の連絡カードを作成して自宅に貼る

《備える連絡手段》

・アマチュア無線の通信を検討

避難生活に向けた備え

《共助の避難所生活》

・避難所にプライベートスペース・ルールづくり

《自助の在宅避難生活》

・防災食などの準備を啓発

※第2回潮江南地域フォーラムより

取り組みのサポート

家具等の転倒防止対策に係る支援

・家具等に転倒防止器具の取付を行う世帯を対象に最大5点まで取付を無料で代行する高知市家具等転倒防止対策支援事業を実施しています。

【地域防災推進課 088-823-9040】

住民意識向上のための支援

・地域における防災意識向上のため、学校や企業、町内会など地域住民に向けた防災講演会を開催しています。

【地域防災推進課 088-823-9040】

・防災分野の専門講師による講演会（防災人づくり塾）や防災士資格取得支援事業のほか、SNSや広報紙等を通じて、高知市津波SOSアプリの広報を実施しています。

【防災政策課 088-823-9055】

ち いきぼう さい と く ～地域防災の取り組み～ ①

く たい て き じぎょう けい か く 具体的な事業計画

事前の備え

- ・防災意識の啓発を行う
 - 可能な限りはやく潮江地区全体で防災訓練を実施する
 - 地震災害に精通した教授を招いた講演会の開催や防災に関する出前講座を依頼する
 - 自力避難が難しい方に対して、「道路まで出る」というような周知を地域で行う
- ・「自分で備える」啓発を行う
 - 耐震化・家具の転倒防止対策を行う
(耐震状況を確認するアンケート調査を実施)



つ な み ひ なん 津波避難

- ・避難場所・経路を改善する
 - 町内会で津波避難ビルマップやハザードマップの回覧を行う
 - 避難路の危険箇所の点検を行う
 - 自然の高台にある避難場所には、登山者名簿のような連絡ノートを設置する
- ・避難意識を改善する
 - 避難場所の周知を行ったあと、各町内会や潮江南防災連合会が主体で防災訓練を実施する
 - 学校で子どもへの防災教育を行うことで、親世代に発信・伝播させていく



ひ なん 避難後の生活

- ・災害時の連絡手段を確保する
 - 災害時の連絡手段を知るため、関係機関（通信会社・県・市など）の講演を聞く
- ・避難生活に向けて備える
 - 地域全体で半年に1回程度の定期的な訓練を実施する
 - 人を集めるために楽しいイベントと組み合わせて実施する、夜間の訓練も実施する
 - 地域住民を集めて町内会全体で防災グッズを用いたコンテストを実施し、周知を行う



※第3回潮江南地域フォーラム・検討会より

もくひょう 目標

- ・防災訓練を再開する
- ・老朽化した建物への対策をする
- ・防災に関する講習会を開催し、防災の知識を浸透させる
- ・耐震や家具の転倒防止対策を行う
- ・避難意識を向上させる
- ・津波避難場所の周知を継続する
- ・連絡手段を構築する
- ・簡易トイレの備蓄を増やす
- ・災害時のネット環境を確保する



アンケートと子ども版コミュニティ計画から 見えてきた課題・魅力

ぼうさいじょうほう 防災情報を知らない

《被害想定を知らない》

- ・地域の被害やどこに行くべきか、生活にあった情報を知りたい

《防災活動を知らない》

- ・「防災連合会を知らない」49%
地域活動に参加しない理由は「知らない」が多い

くんれんさんかしゃ 訓練の参加者が少ない

- ・どうやったら若者が参加する？

よりコミュニティを強く

- ・災害時に助け合えるコミュニティが必要

※第1回潮江南地域フォーラムより

取り組むべきこと

ぼうさいじょうほう こうほう 防災情報の広報の強化！

- ・子どもから親に危機意識をもって防災啓発を行う

より良い訓練の実施！

《楽しい訓練！》

- ・美味しいもの（炊き出し訓練）を提供、使えるグッズを配る

《子どもを巻き込む訓練！》

- ・学校を中心に訓練の実施
⇒4年生の防災授業の活用、学校の防災参観日に訓練など

《実用性のある訓練！》

- ・実践的な『急にやる』避難訓練をしたい

※第2回潮江南地域フォーラムより

復興に向けて

潮江南地域がこんなふうになってほしい

潮江南小学校6年生の『子ども版コミュニティ計画』

2020年度（令和2年度）の潮江南小学校6年生が
ワークショップで考えたキャッチコピー

『みんながハッピーで笑顔あふれる未来のまち』

『みんながハッピーで笑顔あふれる未来のまち』
が災害が起こった後も続いていくために

人々の
つながりの復興

町内会の
復興

まち
街の復興



どんなことができるかな
できることがあればいいかな

災害の規模や被害状況などは
起こってみないと分からない・・・

そのため、復興に向けた対策を
事前にイメージすることは難しく、
手を付けにくいものがある・・・

取り組みの サポート

防災情報の広報に係る取り組み・支援

- ・広報誌の「あかるいまち」や高知市ホームページでの防災情報の周知、また、LINEやTwitterなどSNSを活用した防災情報の広報を行っています。

【地域防災推進課 088-823-9040】

災害後に向けての整備

- ・災害発生後の情報通信の停止によって、災害情報の伝達に支障をきたすことがないよう、情報通信機能の確保を目的とした防災行政無線の整備を行っています。

【地域防災推進課 088-823-9040】

く たい てき し ぎょう けい かく
 具体的な事業計画

ほう さい
 地域の防災活動

- ・防災情報の広報を強化する
 - 訓練やイベントの情報共有の体制を作る
 (施設主導ではなく地域主導で情報を周知)
 - 数年以内に町内会で情報掲示板を増設する
- ・より良い訓練を実施する
 - 若い世代を呼び込むような工夫をする (町内会や潮江防災連合会が主体でお肉いっぱいのカレーなどの炊き出し訓練、BBOや懇親会を開催する)
 - 選挙の投票に訓練を合わせる (学校などで) 投票の終わった人は、屋上へおむかう避難訓練をしてもらう)
 - オンラインでも参加できるようなハイブリッドな訓練を実施する



※第3回潮江南地域フォーラム・検討会より

えがお
 『みんながハッピーで笑顔あふれる未来のまち』へ

- ・日頃から、町内・地域のコミュニティをつくる
- ・町内会や地域全体における組織図を作成する
 - 各組織の役割分担を事前に決めておく
- ・イベントや訓練などの活動を継続する
- ・子どもから大人までの地元愛を高める



もくひょう
 目標

- ・防災意識・コミュニティ力を強める
- ・若い世代(子育て世代)に防災活動へ来てもらう
- ・小学校と防災学習の連携に取り組む
- ・情報掲示板の増設
- ・市民と行政のつながりを強める
- ・訓練やイベントの情報共有の体制を確立する



4

けい かく たい けい
計画の体系

高知市子ども育成課

高知市母子保健課

子どもたちへの学習支援や・生活支援の活動をとあして、地域で子どもを育てることで、子どもから大人、高齢者までのつながりづくりが期待できる。

さらに、子どものためのサロンが地域のサロンに発展するなど、子どものためのコミュニティだけではなく、地域コミュニティの強化につながっていくことが期待できる。

高知市学校教育課

南青少協など

こどもたち(地域)の
学習支援・生活支援

みなみ学習

みなみ食堂



サロン



保育園・幼稚園
子育て支援センターなど

世代間交流



イベント



高知市地域コミュニティ推進課

各種団体

地域コミュニティの強化

高知市広聴広報課

避難訓練



事前の備え



地域防災

避難

地域の防災力を高めるためには、地域コミュニティがカギになるため、非常時のつながりだけでなく、日常のつながりを大切にすることが必要がある。

地域コミュニティと防災は、密にかかわっているため、双方にアプローチできるような活動の実施が地域コミュニティと防災力の強化へとつながっていくことが期待される。

高知市防災政策課

高知市地域防災推進課

行政関係機関

高知市基幹型地域包括支援センター

高知市社会福祉協議会 地域協働課

南社会体育・体育会など

学習

地域住民の健康増進



百歳体操

ラジオ体操



地域体操

花植え



野生動物の学習



環境整備

町内会など

公園美化



波避難

見守り隊



地域安全

経路

高知市地域共生社会推進課

高知市くらし・交通安全課

高知県警察

※ 行政関係機関は、潮江南地域コミュニティ計画の「取り組みのサポート」に掲載している機関のみ記載しています。

子どもから高齢者まで、みんなが一緒に体を動かせるような体操や行事を行うことで、世代間交流や地域住民の健康増進につながる。

また、地域で障がいや高齢者について学ぶことで、困っている時の助け合い・支え合いにつながっていくことが期待される。

高知市生活食品課

高知市地域コミュニティ推進課

高知市環境業務課

高知市みどり課

地域の美化活動と見守り活動を連携させることで、環境の整備と地域の安全へつながっていくことが期待される。

地域の危険箇所などを把握しておくことで、未然に事故が防げたり、災害時に危険箇所を避けることができ、地域住民の安全へつながっていくことが期待できる。

1

コミュニティ計画について

これまでの取組経過

高知市は、1991年度（平成3年度）策定の「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互に補完・連携する各地区の居住地域（コミュニティ）ごとのまちづくり計画を『コミュニティ計画』と位置づけ、市民と行政のパートナーシップのもと1993年度（平成5年度）から各地区において策定及び推進に取り組んできました。

各地区では、コミュニティ計画の策定に取り組む「コミュニティ計画策定市民会議」が順次設立され、これまでに1,200人を超える多くの市民が参加して、それぞれの計画案が作成されました。

計画案の市長への提言を受けて、本市では、庁内横断組織であるコミュニティ計画策定委員会及び幹事会での調整等を行い、28地区において「コミュニティ計画」を行政計画として策定するとともに、計画を実践する市民主導の自主的組織として各地区で設立された「コミュニティ計画推進市民会議」が中心となって、約20年にわたり計画登載事業の推進に取り組んできました。

また、2003年度（平成15年度）に施行した「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」において『コミュニティ計画の策定と推進』を本市の役割と位置づけるとともに、条例に基づく諸制度を推進してきました。

一方、各地区のコミュニティ計画策定から長期間が経過し、登載事業の多くが既に実施済みであることや、市内約3分の1の地域では計画が未策定であること、計画を策定した当時とは社会情勢が大きく変化していること等から、コミュニティ計画についても、将来的な地域のまちづくりを持続可能なものとするために見直しの必要性が生じています。

【参考】これまでのコミュニティ計画の考え方

- ・市域全体を地域の視点で区分し、それぞれの地区において、土地利用のあり方や生活環境の保全・整備の課題等を検討する計画
- ・各々の居住地域（コミュニティ）で、そこに住む住民の参加と創造による住民自治をベースとし、相互理解と連帯のもと、人間性豊かな心のふれあう地域社会の形成を目指し策定する計画
- ・策定に当たっては、その方法や計画の内容は、各々の居住地域（コミュニティ）の特性に応じた多様なものとなる

地域コミュニティ再構築事業の展開

本市では、平成22年度から「地域コミュニティの再構築」に取り組んでいます。

これは、少子化・高齢化や人口減少の進行により、地域活動の担い手不足や住民同士の関係の希薄化といった問題が顕著となってきたなか、将来的にも地域内で住民や団体、また事業者等が互いに支え合い助け合えるような社会を作り、また、これからの地域課題の解決に向けて、地域と行政が手を携えて協力していこうというものです。

その中で、概ね小学校区を範囲に、地域内で活動する個人、団体、事業者等がゆるやかにつながり、地域の現状や課題を共有するとともに、課題の解決に向けて連携・協力していくためのプラットフォームとして各地域での「地域内連携協議会」の設立を提案しています。2023年度（令和5年度）3月時点で市内29地域において設立された地域内連携協議会では、各分野で活動する地域団体が参画し、地域の特性を活かした活動に主体的に取り組んでいます。その一方で、地域のまちづくりの方向性を見据えて、計画性と実効性を持った活動の推進が求められています。

モデル地域におけるコミュニティ計画策定の方針

本市が設置する「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会」において、2015年度（平成27年度）に今後のコミュニティ計画のあり方について議論された結果、市民と行政の協働の理念に基づき、地域の意見を踏まえてコミュニティ施策の再検討を行うことや、PDCAサイクル（Plan・計画 → Do・実行 → Check・評価 → Action・改善）による計画の検証を実施すること等について、2016年（平成28年）4月に同委員会から市長に対して提言がなされました。

提言を受けて、本市では、現行のコミュニティ計画の考え方を踏まえ、市民と行政の協働を基本として、次に掲げる「計画の構成」、「計画策定・推進の主体」、「計画期間」といった視点を中心に、今後策定するコミュニティ計画について検討を行うこととしました。そこで、これまでのコミュニティ計画未策定の「久重地域」と策定済の「よこせと地域」をモデル地域に選定し、2017年度（平成29年度）に「久重のまちづくり計画2017-2021」、2018年度（平成30年度）に「よこせとコミュニティ計画2018-2022」が策定されました。この結果を踏まえて検証し、新たなコミュニティ計画についての考え方を以下のとおり整理しました。

■ 住民主体で取り組めるソフト事業を中心とする

本市では、2003年度（平成15年度）に都市計画区域におけるハード面でのまちづくりの方針や具体的な取組を示した「都市計画マスタープラン」を策定。2013年度（平成25年度）には対象区域を都市計画区域外も含む全市域に拡大し、全地域の地域別構想も盛り込んだ内容としました。これまでのコミュニティ計画に登載していた比較的規模の大きなハード事業は、都市計画マスタープランに登載されているものになります。

こうしたことから、これまでのコミュニティ計画ではハード・ソフトを問わず、その地域に関する事業を網羅するものになっておりましたが、新たなコミュニティ計画では、特に地域に関わる防災、福祉、教育、コミュニティ等の分野で、地域の方々の主体的な取組が想定されるソフト事業や、地域コミュニティに関する比較的規模の小さいハード事業を中心とした計画に見直すこととしました。

■ 計画策定・推進の主体は地域内連携協議会

新たなコミュニティ計画の策定・推進の主体は、地域内連携協議会としています。

これは、各地域で設立された地域内連携協議会において、コミュニティ計画推進市民会議をはじめとする地域の多くの団体が参画し、様々な視点から地域のまちづくりについて自由な意見が交わされる等、まちづくりに関わる中心的な団体となってきていることや、また、地域内連携協議会に参画する各種団体の連携・協力のもと、各地域の特性に応じた活動が実施されていることから、その活動に計画性と実効性を持たせ、将来にわたって持続可能なものとしていきたいと考えているものです。

本市では、地域内連携協議会の運営や活動を支援するため、会議での情報提供等を行う地域活動応援隊職員の配置による人的支援や、地域内連携協議会活動促進事業費補助金等による財政的支援を実施しています。また、高知市地域共生社会推進本部を中心に各担当部署との庁内横断的な連携・調整等を行うことで、市民と行政の協働によるまちづくりを目指しています。

■ 計画期間は5年間

新たなコミュニティ計画では、策定や推進に関わる主体が目標の達成に向けて一定の見通しを立てやすくするように、計画期間を5年間に設定しています。

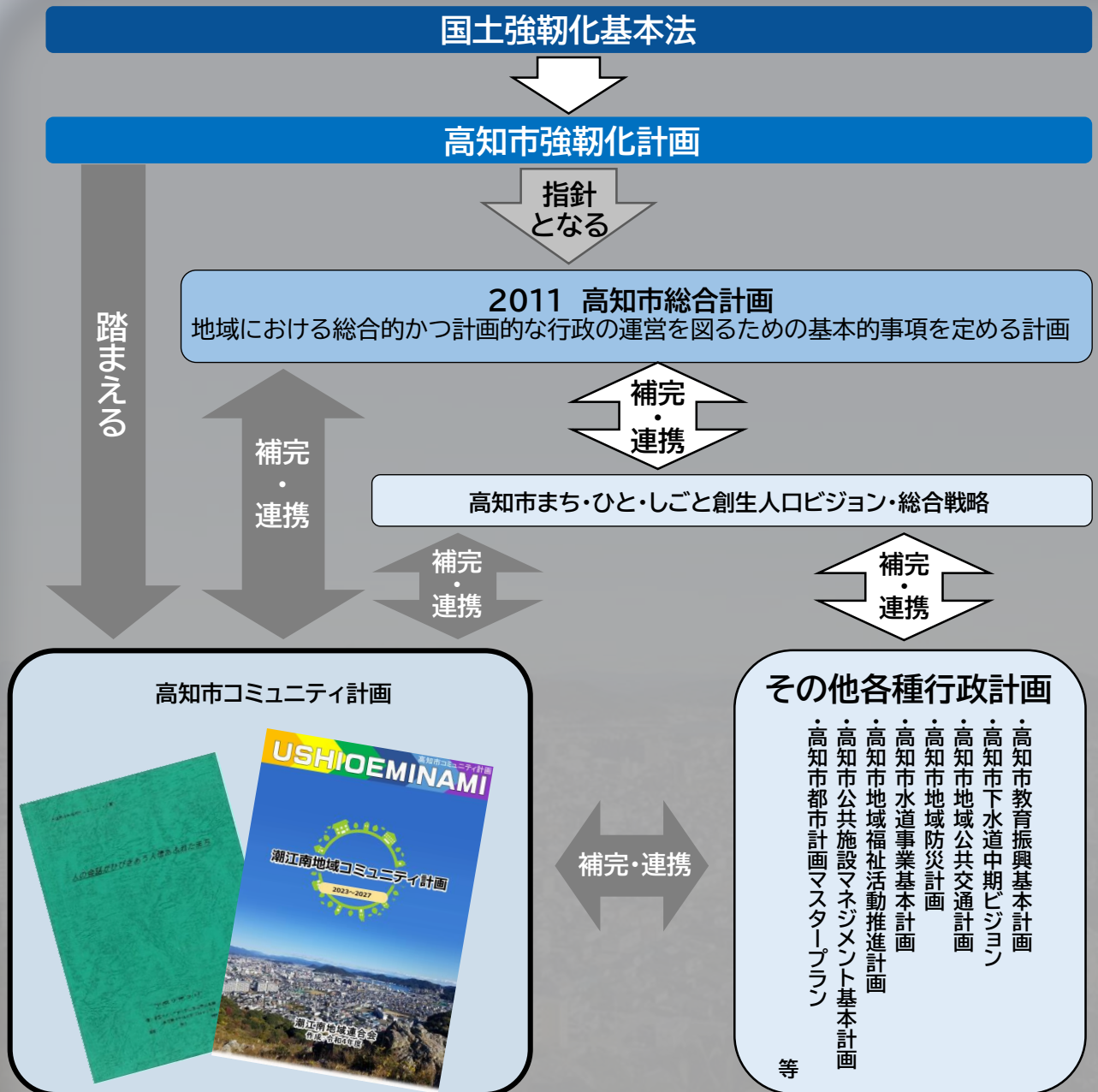
一方で、将来に向けて持続可能なまちづくりの推進を実現するためには、単年度ごとの活動を通して計画性を持って取り組むことも必要であることから、PDCAサイクルの考え方に沿って進捗状況を確認しながら、随時、計画内容の見直しや更新を行っていきます。

地域においても、それぞれの活動状況等を把握しながら、各年度の事業計画を検討し、実施につなげていくことが望ましいと考えています。

コミュニティ計画と総合計画や各種関連計画との関係

「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互補完する行政計画として位置づけたコミュニティ計画は、2016年度（平成28年度）に策定した「2011高知市総合計画（2016基本計画改訂版）」においても、補完・連携するものとしています。

現在、本市を取り巻く状況の変化の中で、各部門別行政計画等との連携を通じた行政内部での部局横断的な対応が求められており、コミュニティ計画が地域における取組と行政の取組について、防災や福祉等の分野の枠を越えて機能的に結びつける役割を担うことが期待されており、その必要性は今後も高まっていくものと考えています。

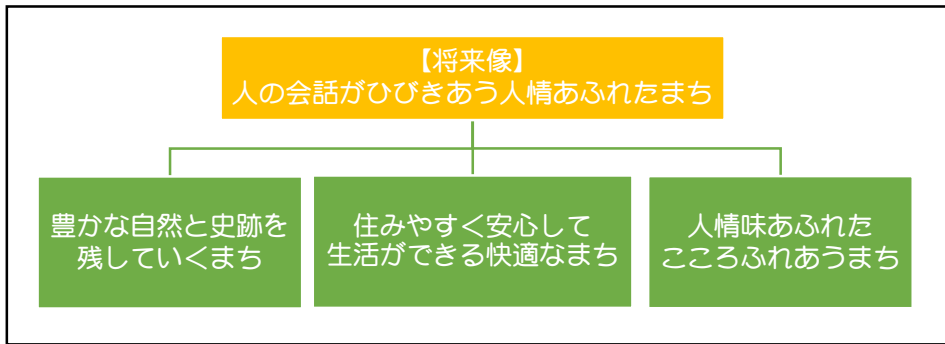


2

潮江南地域の背景

●潮江南地域のコミュニティ計画について

潮江南地域では、1994年（平成6年）9月に「潮江地区コミュニティ計画策定市民会議 潮江南小学校校区ブロック会」を設立し、約1年半かけて今後の地域の目指すべき将来像や地区の整備方針・計画等について討議を行いました。そして、1997年（平成9年3月）に「人の会話がひびきあう人情あふれたまち」を将来像とした行政計画である『潮江南小学校校区コミュニティ計画』を策定しました。



さらに、計画を実践するための住民主導の自主的な組織として、1997年（平成9年）に「潮江地区コミュニティ計画推進市民会議 潮江南小学校校区ブロック会」が結成され、現在も、「ホタルの観察会」や「花植え」、「広報誌の発行」など多岐にわたる活動を続けています。



一方、『潮江南小学校校区コミュニティ計画』は策定から20年以上が経過し、計画策定当時とは社会情勢が大きく変化し、新たな地域課題が出てきたことから、多様な視点から検討を加えた新たな計画づくりの必要性が生じてきました。

そこで、地域内での連携・協力による地域課題の解決を目指し、地域活動にかかわる多くの団体が参加して2017年（平成29年）に設立された「潮江南地域連合会（通称：みなみ連合）」を検討の場として、2022年度（令和4年度）に地域にも幅広く呼びかけながら、地域の現状に沿った新たな『潮江南地域コミュニティ計画』を策定しました。

この計画は、地域力や協働の意識を土台として、住民主導のこれからのまちづくりへ、新たなステップを踏み出すことを目指します。



●潮江南地域の地区防災計画について

潮江南地区では、地域の防災活動をより一層向上させるために、2020年度（令和2年度）から『潮江南地区防災計画』の策定を開始しました。

計画の策定に当たっては、潮江南防災連合会が主体となり、潮江南地区の住民や、潮江南小学校の教員・児童、高知市など多くの方の参加を得ながら、現状の確認、課題の見直し、そして課題の解決に向けた具体的事業案の検討などの取り組みを行い、事前にできることや今後取り組んでいくことなどを計画として落とし込みました。

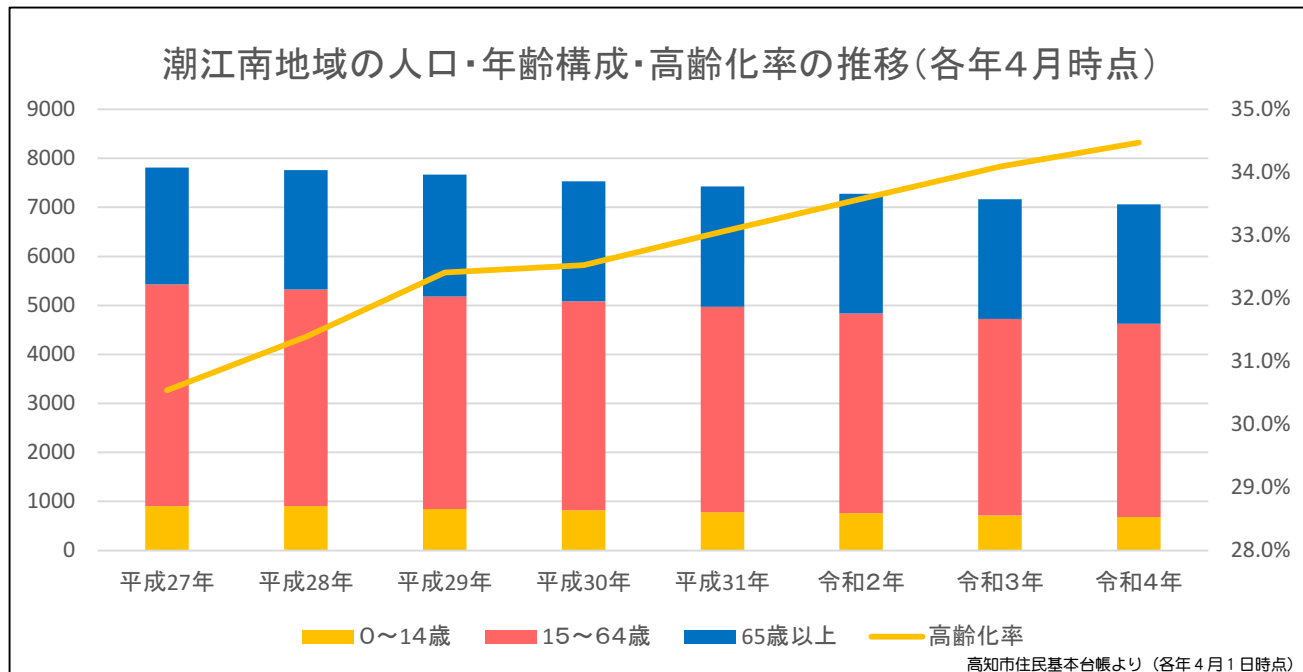
この計画のポイントは、内容を『まちに住んでいるみんなで考えた』という点であり、想定される災害に対して、地域の特性や実情に応じた計画であること及び今後における地域の課題やその解決策を整理することで、防災活動の指針となることから、地域全体における自分たちで災害に備える力や住民同士で助け合う力の向上につなげていくことを目的としています。



3

潮江南地域の現状

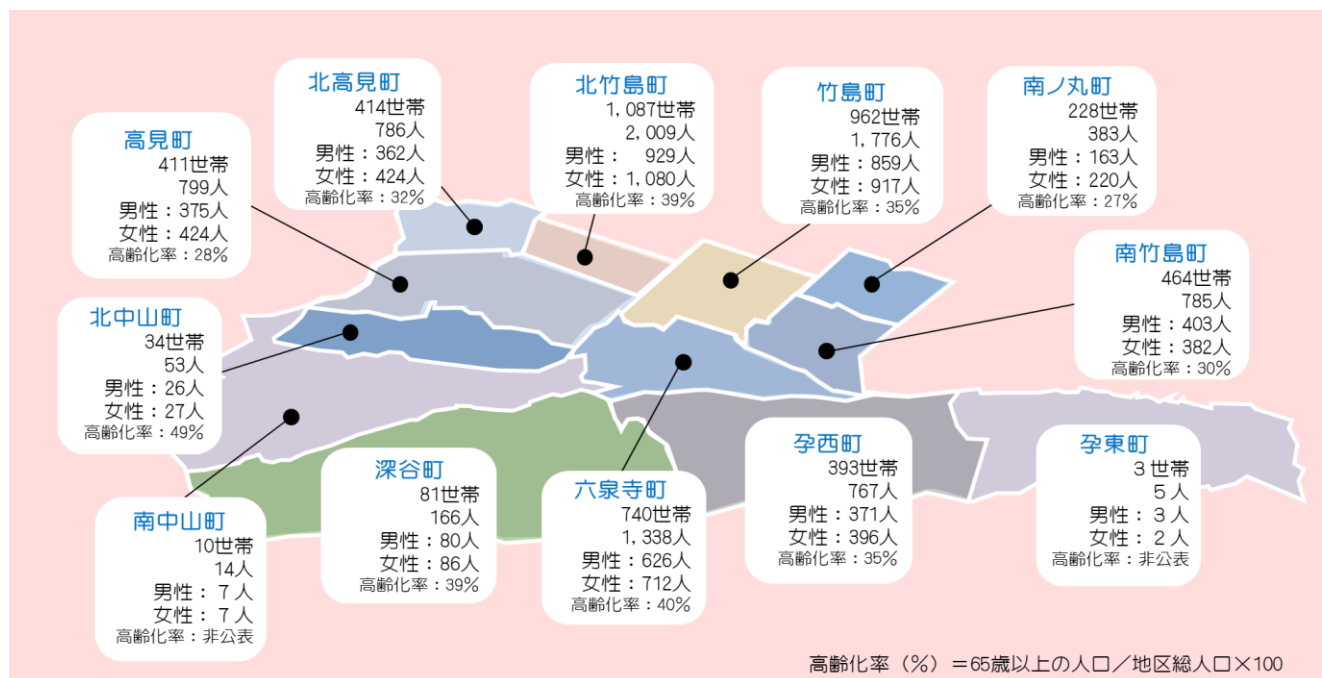
潮江南小学校区の人口動態からみる地域の現状



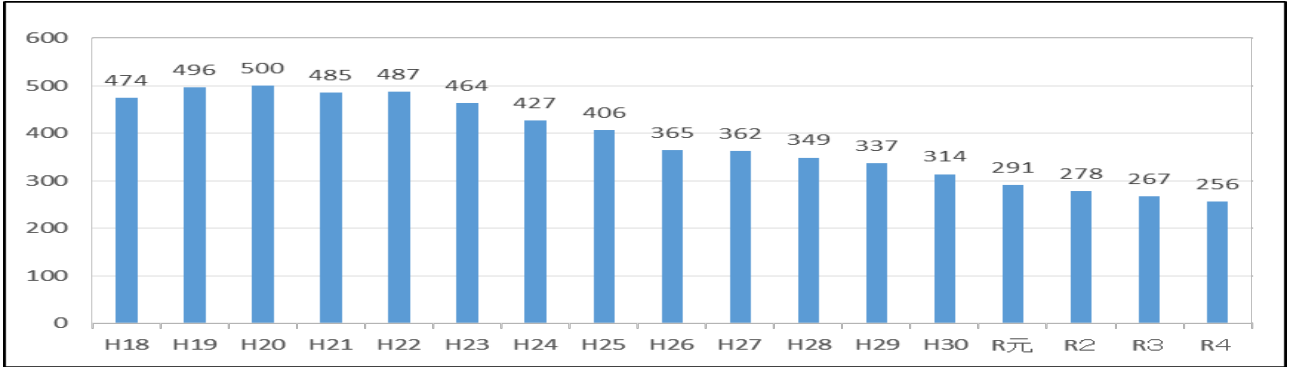
上図のとおり、潮江南地域は、人口減少が進んでいる地域になっています。

一方で、2015年(平成27年)は31%未満だった高齢化率は、2022年(令和4年)では34%を超えており、高齢者の人口割合が増加しています。

地区別人口統計



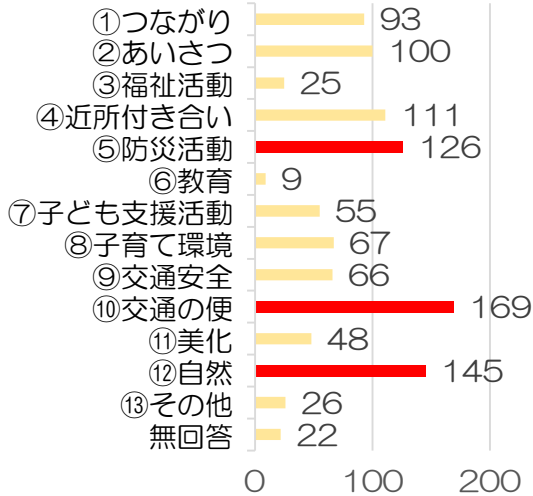
潮江南小学校区の児童数からみる地域の現状



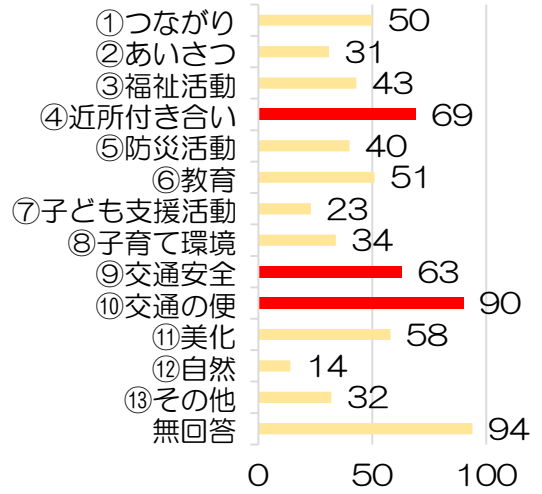
上図のとおり、潮江南小学校の児童数は2008年度（平成20年度）を境に減少傾向にあります。2022年度（令和4年度）の生徒数は256人となり、ピーク時と比べて244人の差があります。このことから、潮江南地域でも少子化が進んでいることが分かります。

潮江南地域アンケートからみる地域の現状

あなたが思う潮江南地域の「良いところ・魅力」を選んでください（複数回答可）。



あなたが思う潮江南地域の「課題・弱点」を選んでください（複数回答可）。



潮江南小学校区では、コミュニティ計画を策定するにあたり、潮江南小学校区に在住の方から地域活動に対してのご意見等をいただく場としてアンケート調査を実施しました。

『あなたが思う潮江南地域の「良いところ・魅力」を選んでください。』という質問では、「交通の便」に1番の魅力を感じていることが分かります。また、「課題・弱点」についても、「交通の便」が一番割合が高く、魅力と感じている人もいれば、弱点と感じている人もいることが分かります。

その他に、「良いところ・魅力」について、「自然」、「防災活動」と回答する人が多い傾向にあります。

一方、課題・弱点と感じる部分は、「近所付き合い」、「交通安全」と回答する人が多い傾向にあります。

「近所付き合い」については、魅力と感じている方も多くおり、町別や年齢層によってつながりの強さに違いがあるのかもしれませんが。

4

潮江南地域コミュニティ計画のあゆみ

潮江南地域では、以下のように市民と行政の協働でコミュニティ計画の策定に取り組みました。取り組み詳細については、次ページ以降に掲載しております。

潮江南地域アンケート

子ども版コミュニティ計画の作成

アンケートや子ども会議から子どもや地域の声を聞き取り冊子としてまとめました！

第1回 地域フォーラム

アンケートなどの意見から見える「課題」を検討しました！

PTAなどの働き世代に声をかけて、子ども版コミュニティ計画から見える課題と、保護者から見える課題を検討しました！

第2回 地域フォーラム

第1回フォーラムで出た「課題」から「解決策」を検討しました！

地域の方々に声をかけて、地域に長く住んでいるからこそ分かる課題解決に向けた具体的事業を検討しました！

第3回 地域フォーラム

これまでの取り組みを振り返り、「目標」と「具体的事業案」を検討しました！

コロナ禍の中で大変でしたが、地域の方々に声をかけて、課題解決に向けた具体的事業を検討しました！

検討会

地域活動団体の役員などを中心に「目標」と「具体的事業案」を検討しました！

地域活動団体の役員などに声をかけ、これまでの意見を踏まえて、実施可能な計画にするため話し合いました！

最終検討会・編集会

地域活動団体の役員などを中心に「目標」と「具体的事業案」を再度検討しました！

再度、地域活動団体の役員などに声をかけ、最終検討とコミュニティ計画冊子のレイアウトについて話し合いました！！

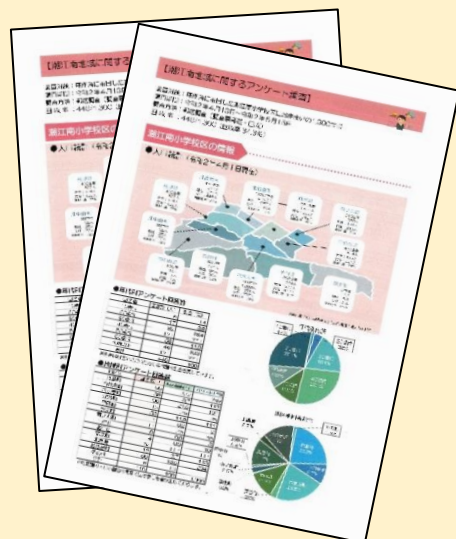
コミュニティ計画の完成

子どもからお年寄りまでみんなの声をまとめた計画になっています！

潮江南地域アンケート

2020年度(令和2年度)から潮江南小学校区で“自分たちのまちを自分たちでよくしていくこと”をコンセプトとした「コミュニティ計画」づくり(防災分野を含む)に当たって、多くの方から意見を聞き、計画づくりに反映させるため、潮江南地域に関するアンケートを実施しました。

アンケートでは、家族構成などの個人に関すること、地域の魅力や課題、潮江南連合防災会の認知度、防災に関する質問を行いました。



<アンケート概要>

調査対象：無作為に抽出した潮江南小学校区にお住まいの1,300世帯
 調査期間：2020年(令和2年)4月13日～2020年(令和2年)5月15日
 調査方法：郵送調査(調査票送付・回答)
 回収率：446/1,300(回収率34.3%)

アンケート集計結果は46ページへ



第1回 子ども会議

子どもの視点での「潮江南地域のここが好き！ここが残念！」を考え、地域が丸となって取り組むキックオフの場となりました。

日程：2020年（令和2年）7月2日（木）

場所：潮江南小学校 家庭科室

対象：潮江南小学校 6年生



子ども会議の流れ

1. 計画を知る



みなみ連合と地域コミュニティ推進課より、コミュニティ計画などの説明を行いました。

2. 意見を出す



4人程度のグループに分かれて、「潮江南のここが好き！ここが残念！」を自由に意見出しました。

3. 発表する



各グループで出た意見を発表しました。

子ども会議の様子

自分たちの地域のことを
自分たちで考えました！



子どもたちの意見 (一部抜粋)

地域の「好き」「残念」を考える！！



子ども会議のまとめ

	好きなところ		嫌いなところ	
	回答数	主な回答	回答数	主な回答
美化に関すること	2	ゴミが落ちていない(公園) 花が植えられていて街がきれい	38	ゴミが捨てられているポイ捨て 公園にゴミが多い ゴミが落ちている ガム、ビニール、お菓子の袋などのゴミが公園に いっぱい散らかっている 近所の池が汚い、掃除もない たばこの吸い殻 犬のふん
地域の見守り	8	朝、交通指導(はた)してくれてる 地域の見守り隊が守ってくれている 地域の人が門のところで見てくれる 帰るとき見守りの人がいる	0	
あいさつ	12	近所の人がいっぱいあいさつしてくれる 挨拶すればやる気が出る 登校時あいさつしてくれる 近所の人「おかえり」 校門で地域の人がいさつしてくれている 会ったら向こうから挨拶してくれる	5	あいさつしたけどスルーされたことがある
防災について	11	防災活動しっかりしている 備えがある(地域の公園)いろんなところ 逃げ道が確保されている 避難所多い 火事の避難訓練→逃げる場所	1	防災訓練の練習少ない
近所づきあい				
交通整備	2	スロープ 信号音、点字ブロック	19	信号無視。道路の横断 交通使が悪い。JRが遠い 横断歩道、カーブミラーが少ない 溝のふたがない 子どもが通る道が危険で曲がり角にカーブミラーが ほしいと思った 歩行者も歩きやすくしてほしい 横断歩道の白ラインを書いてほしい
みなみ食堂				

第2回 子ども会議

子どもによる将来像やその実現のためにあったらいいと思うこと、今の自分達にできることの提案を行いました。

日程：2020年（令和2年）7月10日（金）

場所：潮江南小学校 家庭科室

対象：潮江南小学校 6年生



子ども会議の流れ

1. 前回の振り返り



みなみ連合と地域コミュニティ推進課より、前回の振り返りなどの説明を行いました。

2. 話し合う



4人程度のグループに分かれて、「キャッチフレーズ」や「将来目標」を話し合いました。

3. 発表する



各グループで出た意見を発表しました。

会議の様子・集合写真



キャッチフレーズも
考えてみたよ!!



子どもたちの意見 (一部抜粋)

スローガンや将来像を考えて発表！！

第1回、2回で出された意見に共通する課題やキーワードで分類し、スローガンや将来像を考えました。



安心して子育てできる つながりの強い美しいまち



協力しあい笑顔あふれる町



安全でキレイな潮江南



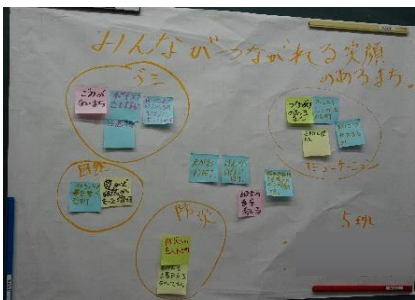
みんながハッピーで笑えるまち

みんながハッピーで
笑顔あふれる未来のまち

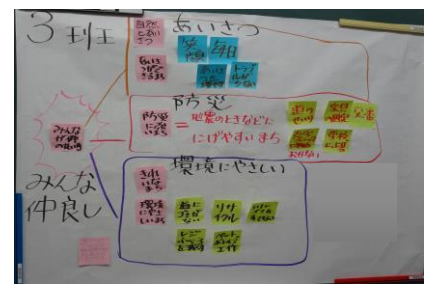
決定したスローガン



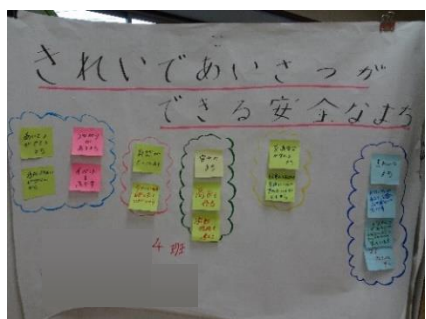
しあわせな
笑顔があふれる町



みんながつながれる
笑顔のあるまち



みんな仲良し



きれいであいさつが
できる安全なまち



高齢者も安心して安全に
住めるまち



人と自然にやさしい町

第3回 子ども会議

地域で活動している団体について知るために、いくつかのグループに分かれてどの団体に取材をするのか話し合いました。



取材の日程などの計画を考えたよ！



第4回 子ども会議

地域で活動されている方を会議にお招きし、活動現場の声（話）を聞き、自分たちにできることがないか考え、行動計画を作成しました。

自分たちのできることを考えて行動へ！



子ども版コミュニティ計画の作成・報告

複数回の子ども会議の内容を集約した「子ども版コミュニティ計画」を作成しました。また、2021年（令和3年）1月25日（月）に総合あんしんセンターにて市長報告をしました。

「子ども版コミュニティ計画」は子ども世代の重要な意見として、フォーラムにて活用しました。



第1回～第4回までの子ども会議を通して、地域課題の解決方法を子どもたちが自分たちで考え、一冊の冊子として市長に報告しました。



市長報告の当日の様子

市長報告の前には、高知市総務課をはじめ関係課の協力のもと、庁舎見学を実施し、高知市役所本庁舎の屋上や議場、秘書室等を見学しました。そして、市長報告では、岡崎市長をはじめとし、中澤副市長、松島副市長が出席して下さり、潮江南小学校6年生の報告を親身になって聞いてくれました。

高知市役所に集合！



屋上の見学



議場の見学



記念撮影！



市長へ報告



とても緊張する～！

総合あんしんセンターで市長報告！！



秘書室などの見学



第1回潮江南地域フォーラム

「潮江南地域アンケートまとめ」と「子ども版コミュニティ計画での意見」を参考として、これまで出てきた意見を基にグループワーク形式で「課題」を検討しました。

日程：2020年（令和2年）10月25日（日）

場所：潮江南小学校 体育館

対象：潮江南小学校区に住む住民



フォーラムの流れ

1. 子ども会議から学ぶ



子ども版コミュニティ計画の内容報告のビデオを視聴しました。子どもの意見に大人も新鮮な気持ちになりました。

2. 地域の課題等を意見出し



5人程度のグループに分かれて、潮江南地域の課題や今後どうなしてほしいかを自由に意見出しました。

3. 大槻先生による総括



たくさんの意見に対して、高知大学地域協働学部の大槻先生より総括をしていただきました。

フォーラムの様子



潮江南地域の地区別防災情報を掲載しました!!!



第2回潮江南地域フォーラム

第1回潮江南地域フォーラムで出た「課題」に対して、「解決策」や「将来像」をグループワーク形式で検討しました。

日程：2021年（令和3年）10月24日（日）

場所：潮江南小学校 家庭科室

対象：潮江南小学校区に住む住民



フォーラムの流れ

1. これまでの振り返り



地域コミュニティ推進課と地域防災推進課より、グループワークを実施する前にアンケートの報告やこれまで出てきた意見の紹介がありました。

2. 解決策・将来像の意見出し



グループワークでは、これまで出た意見を踏まえて、解決策や将来像を意見出しました。第1回潮江南地域フォーラムの時に以上に多くの意見が出ました。

3. 大槻先生による総括



前回と同様に、大槻先生より総括をしていただきました。



フォーラムの様子

大変多くの意見を大槻先生にまとめていただきました！！



第3回潮江南地域フォーラム

第2回潮江南地域フォーラムで、出た解決策をより実現性のある事業とするため、第3回潮江南地域フォーラムでは、「具体的事業案」を検討しました。

日程：2022年（令和4年）8月7日（日）
 場所：潮江南小学校 家庭科室
 対象：地域で活動されている団体の役員など



フォーラムの流れ

1. これまでの振り返り



地域コミュニティ推進課と地域防災推進課より、グループワークを実施する前にこれまでの経緯やこれまで出てきた意見の振り返りがありました。

2. 具体的事業案の意見出し



グループワークでは、これまで出た意見を踏まえて、目標や具体的事業案を検討しました。個人や団体の方の参加が多く、実現性のある事業を検討できました。

3. 大槻先生による総括



前回と同様に、大槻先生より総括をしていただきました。

フォーラムの様子

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めながら開催！



意見まとめ (一部抜粋)

具体的事業案や目標について考えたよ!

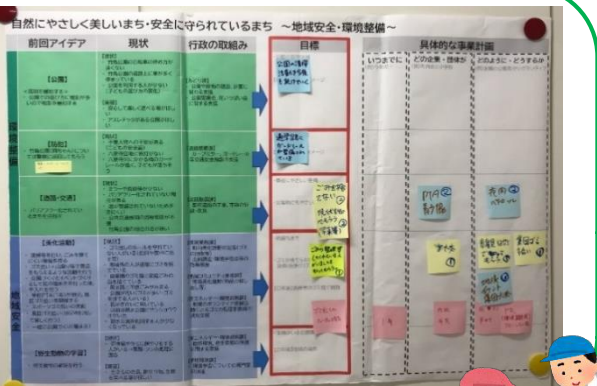
これまでのフォーラムを系統別・課題別にまとめ、目標や具体的な事業計画を検討しました。



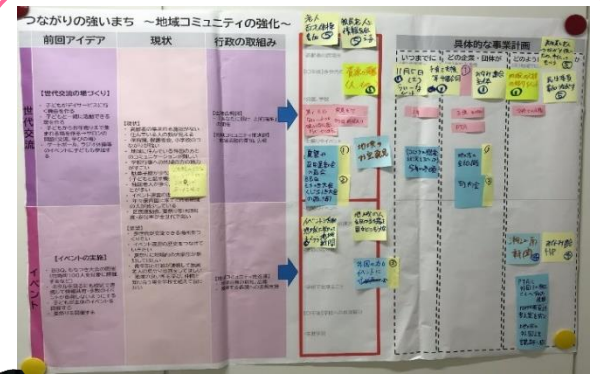
安心して子育てできるまち



高齢者・障がい者も安心して住めるまち



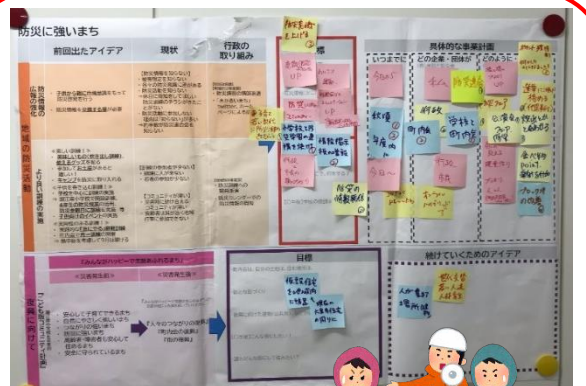
自然にやさしく美しいまち
安全に守られているまち



つながりの強いまち



防災に強いまち



検討会

再度、「具体的事業案」の検討や潮江南地域の理念や基本目標を
考えることで、より実現可能な計画に近づきました。

日程：2022年(令和4年)11月29日(火)

場所：潮江南小学校 家庭科室

対象：地域で活動されている団体の役員など



検討会の流れ

1. 趣旨説明



みなみ連合の川上事務局長より、
コミュニティ計画や今後の流れの
説明がありました。

2. 具体的事業案の 検討



地域で活動されている団体の役
員の方々を中心に具体的事業案
や理念、基本目標を検討しました。

3. 高知市による 総括



地域コミュニティ推進課、地域防
災推進課より総括がありました。

フォーラムの様子

事業案のなかには、既存団体が既に
実施している事業もありました!!



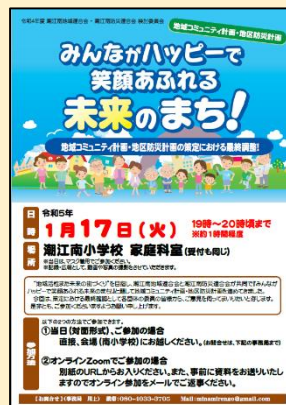
最終検討会・編集会

潮江南地域コミュニティ計画の完成にむけて、最終検討会・編集会を開催しました。最終検討会ということもあり、地域の皆さまからたくさんのご意見をいただきました。

日程：2023年(令和5年)1月17日(火)

場所：潮江南小学校 家庭科室

対象：みなみ連合関係者など



最終検討会・編集会の流れ

1. 高知市による趣旨説明



地域コミュニティ推進課と地域防災推進課より、これまでの経過と会議の趣旨について説明がありました。

2. 冊子案の検討・編集



冊子案を見ながら冊子の内容について検討しました。

3. 冊子の最終編集



計画冊子の完成にむけて、内容や表現などについて、意見を収集しました。

フォーラムの様子

コミュニティ計画もいよいよラストスパートです!



5

潮江南地域アンケートの集計結果

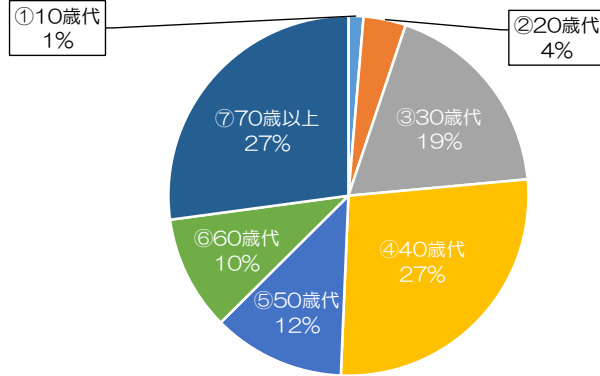
調査対象：無作為に抽出した潮江南小学校区にお住まいの1,300世帯
 調査期間：2020年（令和2年）4月13日～2020年（令和2年）5月15日
 調査方法：郵送調査（調査票郵送・回収）
 回収率：446/1,300（回収率 34.3%）

個人に関する質問

●年齢についてお聞きます。

回答者：446人

年代	回答数	回答割合 (%)
①10歳代	6	1
②20歳代	17	4
③30歳代	82	19
④40歳代	121	27
⑤50歳代	53	12
⑥60歳代	46	10
⑦70歳以上	121	27
合計	446	100

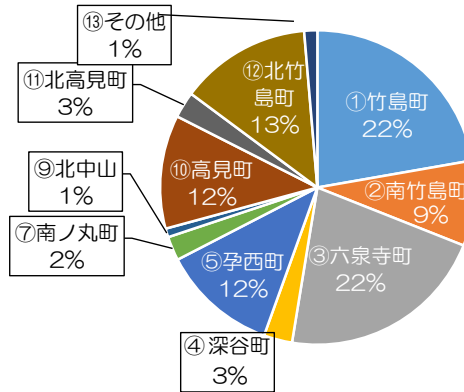


今回のアンケートでは年齢はアンケート用紙に記載いただいた年齢で集計しております。
 年代別の回答割合としては40歳代と70歳代が一番多く、次いで30歳代、50歳代、60歳代、20歳代、10歳代の順となりました。

●お住まいについてお聞きます。

回答者：446人

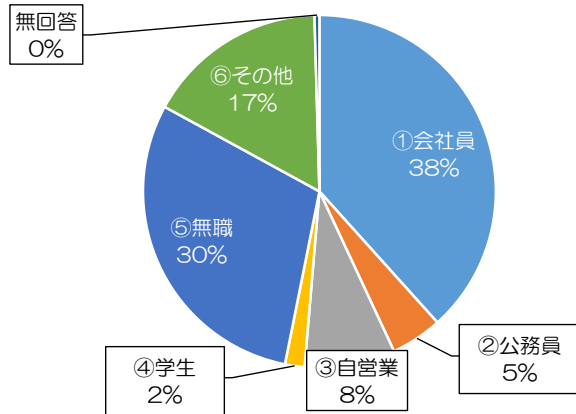
町名	回答数	回答割合 (%)
①竹島町	99	22
②南竹島町	39	9
③六泉寺町	96	22
④深谷町	13	3
⑤孕西町	53	12
⑥孕東町	1	0
⑦南ノ丸町	11	2
⑧南中山	0	0
⑨北中山	4	1
⑩高見町	52	12
⑪北高見町	12	3
⑫北竹島町	60	13
⑬その他	6	1
合計	446	100



●お仕事についてお聞きます。

回答者：446人

業種	回答数	回答割合 (%)
①会社員	171	38
②公務員	21	5
③自営業	37	8
④学生	8	2
⑤無職	133	30
⑥その他	74	17
無回答	2	0
合計	446	100

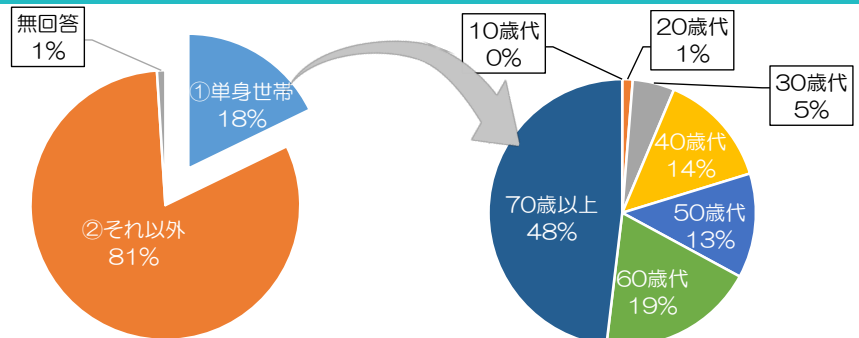


無職と回答された約80%の方は60歳代以上の方でした。
 その他と回答された方の多くは、パートタイム等の短時間労働と回答された方が多い結果でした。

●家族構成についてお聞きます。

回答者：446人

世帯	回答数	回答割合 (%)
①単身世帯	79	18
②それ以外	360	81
無回答	7	1
合計	446	100

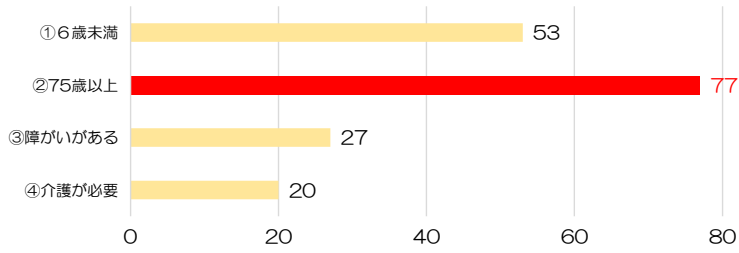


回答いただいたうちの18%が単身世帯で、そのうちの約半数が70歳以上という結果でした。
 また単身世帯と回答された数は年齢が高くなるほど増える傾向にあるようです。

●同居しているご家族の中に該当する方がいれば○印を付けてください（複数回答可）。

回答者：446人

①6歳未満	53
②75歳以上	77
③障がいがある	27
④介護が必要	20
合計	177

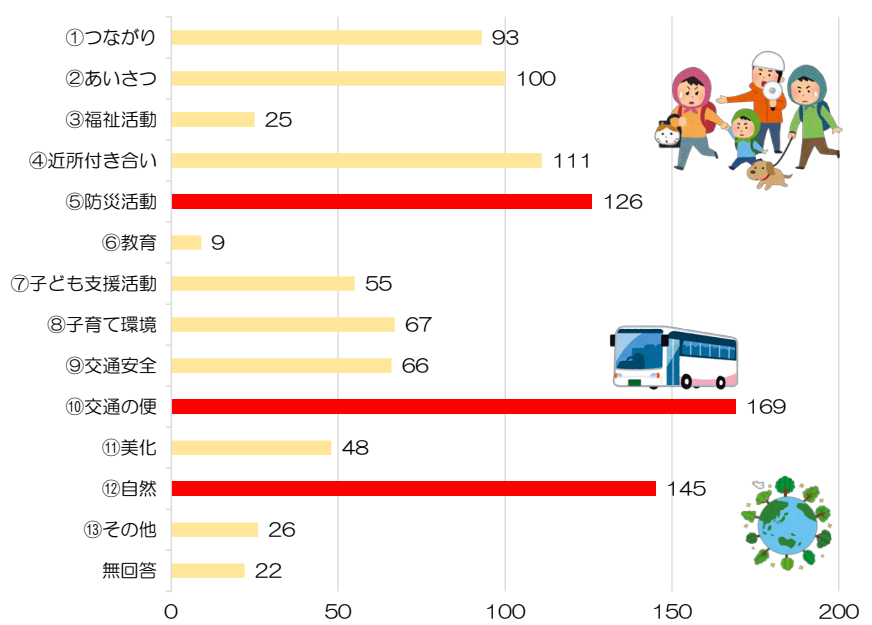


回答をいただいた446名のうち約17%の方が75歳以上の方が同一世帯内におられるとの回答でした。
また世帯内に障がいがある方が約6%、介護が必要な方が4%という結果でした。

●あなたが思う潮江南地域の「良いところ・魅力」を選んでください（複数回答可）。

回答者：446人

①つながり	93
②あいさつ	100
③福祉活動	25
④近所付き合い	111
⑤防災活動	126
⑥教育	9
⑦子ども支援活動	55
⑧子育て環境	67
⑨交通安全	66
⑩交通の便	169
⑪美化	48
⑫自然	145
⑬その他	26
無回答	22

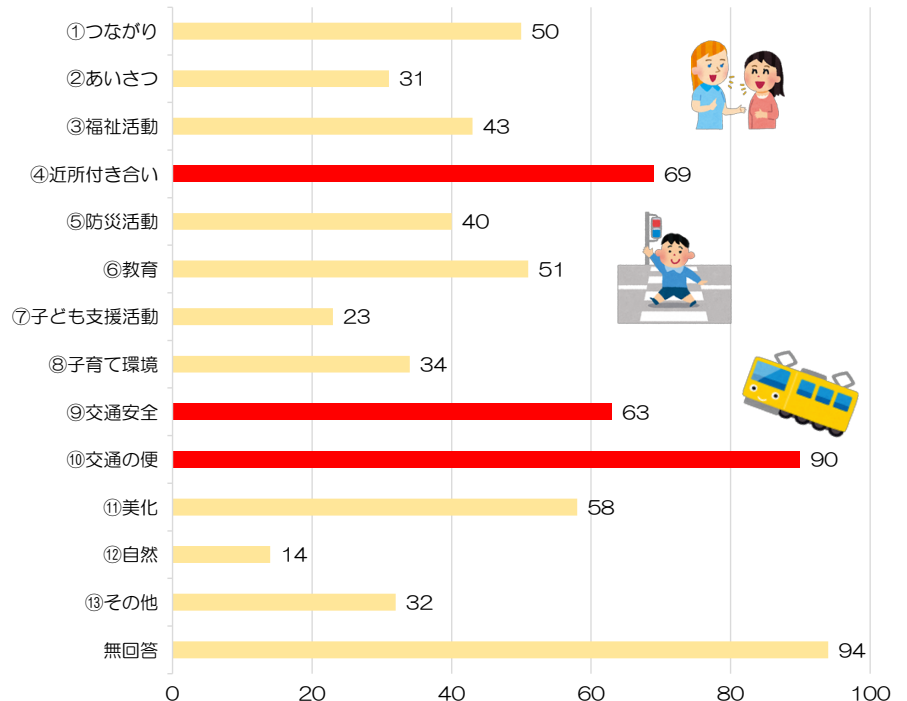


- その他回答
- ・静か（4）
 - ・引っ越して来たばかりで分からない（3）
 - ・ない、分からない（9）
 - ・買い物便利（4）
 - ・住みやすい（3）
 - ・昔からの知り合いがいる（1）
 - ・サニーマートの障がい者支援（1）
 - ・いろいろある（1）

●あなたが思う潮江南地域の「課題・弱点」を選んでください（複数回答可）。

回答者：446人

①つながり	50
②あいさつ	31
③福祉活動	43
④近所付き合い	69
⑤防災活動	40
⑥教育	51
⑦子ども支援活動	23
⑧子育て環境	34
⑨交通安全	63
⑩交通の便	90
⑪美化	58
⑫自然	14
⑬その他	32
無回答	94

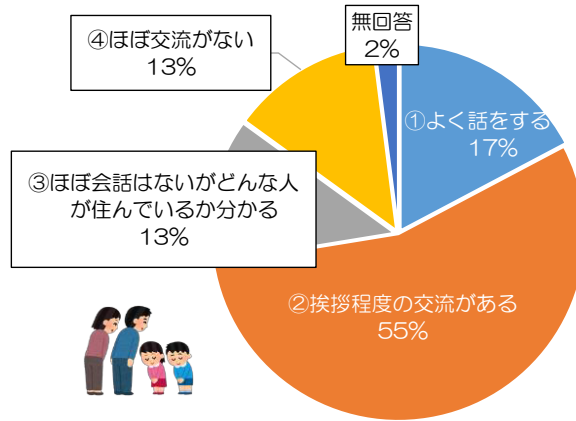


- その他回答
- ・ない、分からない（14）
 - ・津波（4）
 - ・防災対策（2）
 - ・建物改修（1）
 - ・人口減少（1）
 - ・騒音（1）
 - ・治安（1）
 - ・全部（1）
 - ・ペットのマナー（1）
 - ・夜道が暗い（1）
 - ・いろいろ（1）
 - ・いのち山が低い（1）
 - ・道が狭い（1）
 - ・壁が脆い（1）

●日ごろからご近所の方と交流がありますか？

回答者：446人

	回答数	回答割合 (%)
①よく話をする	77	17
②挨拶程度の交流がある	246	55
③ほぼ会話はしないがどんな人が住んでいるか分かる	56	13
④ほぼ交流がない	58	13
無回答	9	2
合計	446	100



よく話をする、挨拶程度の交流があると回答された方が70%を超える割合でした。
また、ほぼ会話はしないがどんな人が住んでいるかは把握されている方が13%いることから、約85%の方が近所の方を把握できていることが分かりました。

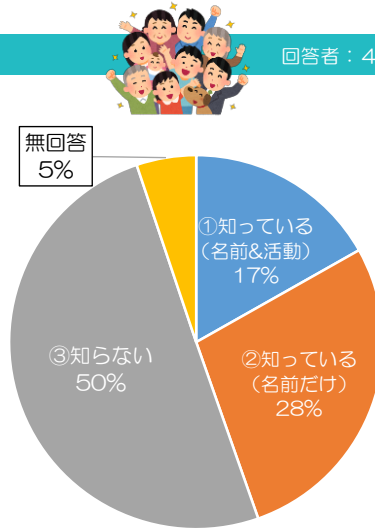
地域で取り組まれていることに関する質問

●潮江南地域連合会（通称：みなみ連合）を知っていますか？

回答者：446人

	回答数	回答割合 (%)
①知っている（名前&活動）	75	17
②知っている（名前だけ）	124	28
③知らない	224	50
無回答	23	5
合計	446	100

	①知っている（名前&活動）	②知っている（名前だけ）	③知らない
10歳代	0	1	4
20歳代	0	4	13
30歳代	7	24	50
40歳代	23	33	57
50歳代	9	19	24
60歳代	12	9	24
70歳以上	24	34	52
全世代	75	124	224



●どうやって知りましたか？（複数回答可）

※知っている（名前&活動）+知っている（名前だけ）

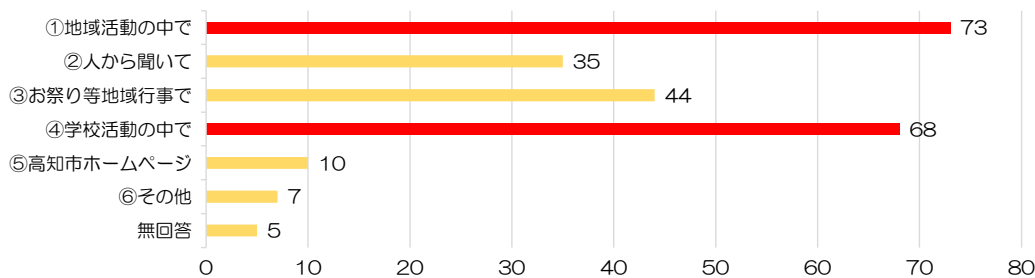
回答者：199人

●活動を知ったきっかけ（199人中）

年代で一番多い項目 ■ 2番目に多い項目 ▨

単位：人

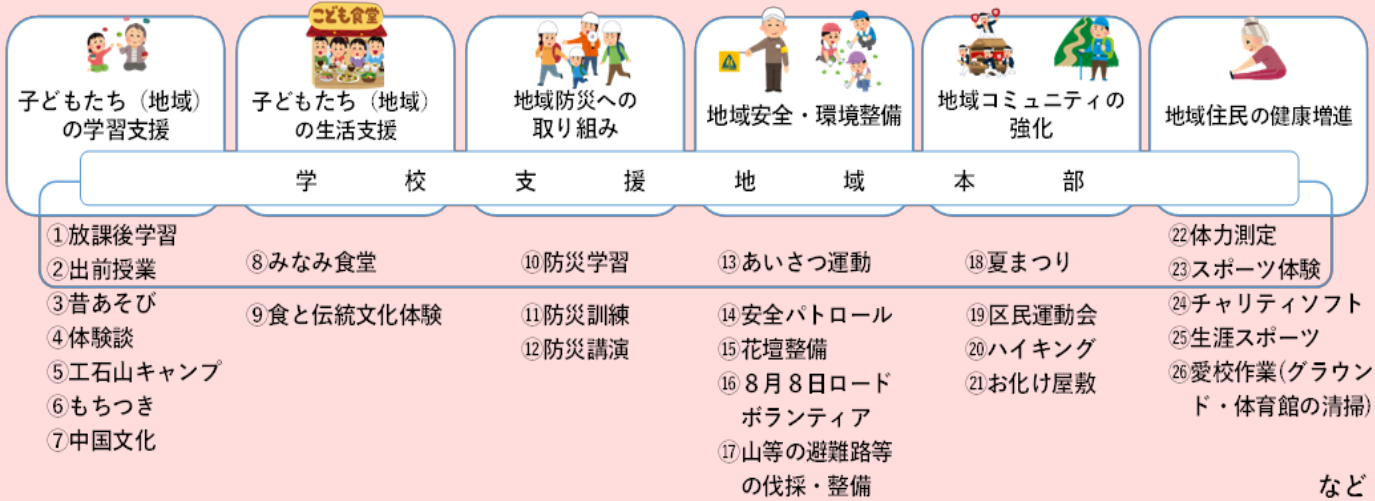
	知っている人	①地域活動の中で	②人から聞いて	③お祭り等地域行事で	④学校活動の中で	⑤高知市HP	⑥その他	無回答
10歳代	1	0	1	0	0	0	0	0
20歳代	4	0	2	2	1	0	0	0
30歳代	31	6	2	9	22	0	0	0
40歳代	56	19	6	13	32	1	1	1
50歳代	28	11	4	4	7	3	2	1
60歳代	21	12	3	3	4	3	0	1
70歳以上	58	25	17	13	2	3	4	2
合計	199	73	35	44	68	10	7	5



みなみ連合を知るきっかけは、20歳代はお祭り等地域行事で、30～40歳代は子どもの学校活動の中で、50歳代以上の方は自らが行う地域活動の中でという理由が一番多い結果でした。
10代の方の認知度は他の世代に比べて低い結果でした。

- その他回答
- ・回覧（3）
 - ・家族や知人が参加している（2）
 - ・パンフレット（1）

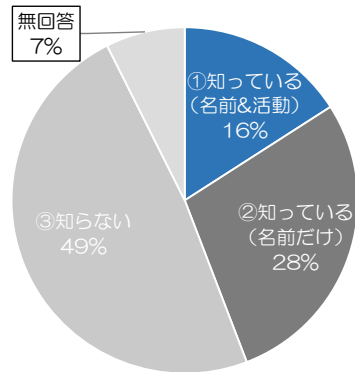
【潮江南地域連合会（みなみ連合）・潮江南防災連合会等の取り組み】



●潮江南防災連合会を知っていますか？

回答者：446人

	回答数	回答割合(%)
①知っている(名前&活動)	71	16
②知っている(名前だけ)	126	28
③知らない	216	49
無回答	33	7
合計	446	100



	①知っている(名前&活動)	②知っている(名前だけ)	③知らない
10歳代	0	1	3
20歳代	0	4	13
30歳代	7	16	58
40歳代	19	33	58
50歳代	8	20	23
60歳代	7	18	20
70歳以上	30	34	41
全世代	71	126	216

●どうやって知りましたか？(複数回答可)

※知っている(名前&活動)+知っている(名前だけ)

回答者：197人

●活動を知るきっかけ(197人中)

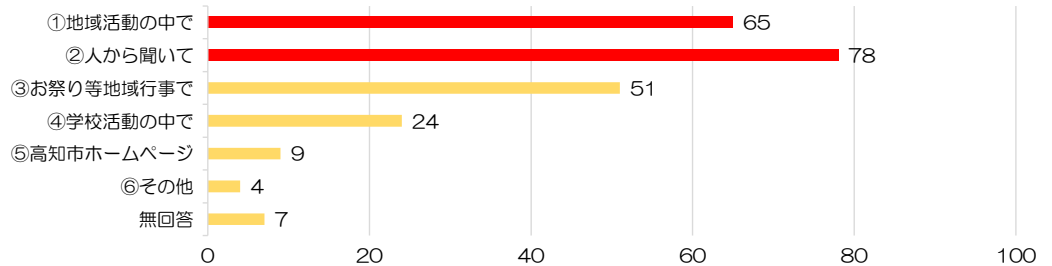
年代で一番多い項目 ■ 2番目に多い項目

単位：人

	知っている人	①地域活動の中で	②人から聞いて	③お祭り等地域行事で	④学校活動の中で	⑤高知市HP	⑥その他	無回答
10歳代	1	0	0	0	1	0	0	0
20歳代	4	0	1	2	1	0	0	0
30歳代	23	5	7	13	1	1	0	0
40歳代	52	17	17	29	5	0	1	1
50歳代	28	9	9	4	3	3	0	2
60歳代	25	10	16	3	1	2	0	0
70歳以上	64	24	28	0	12	3	3	4
合計	197	65	78	51	24	9	4	7

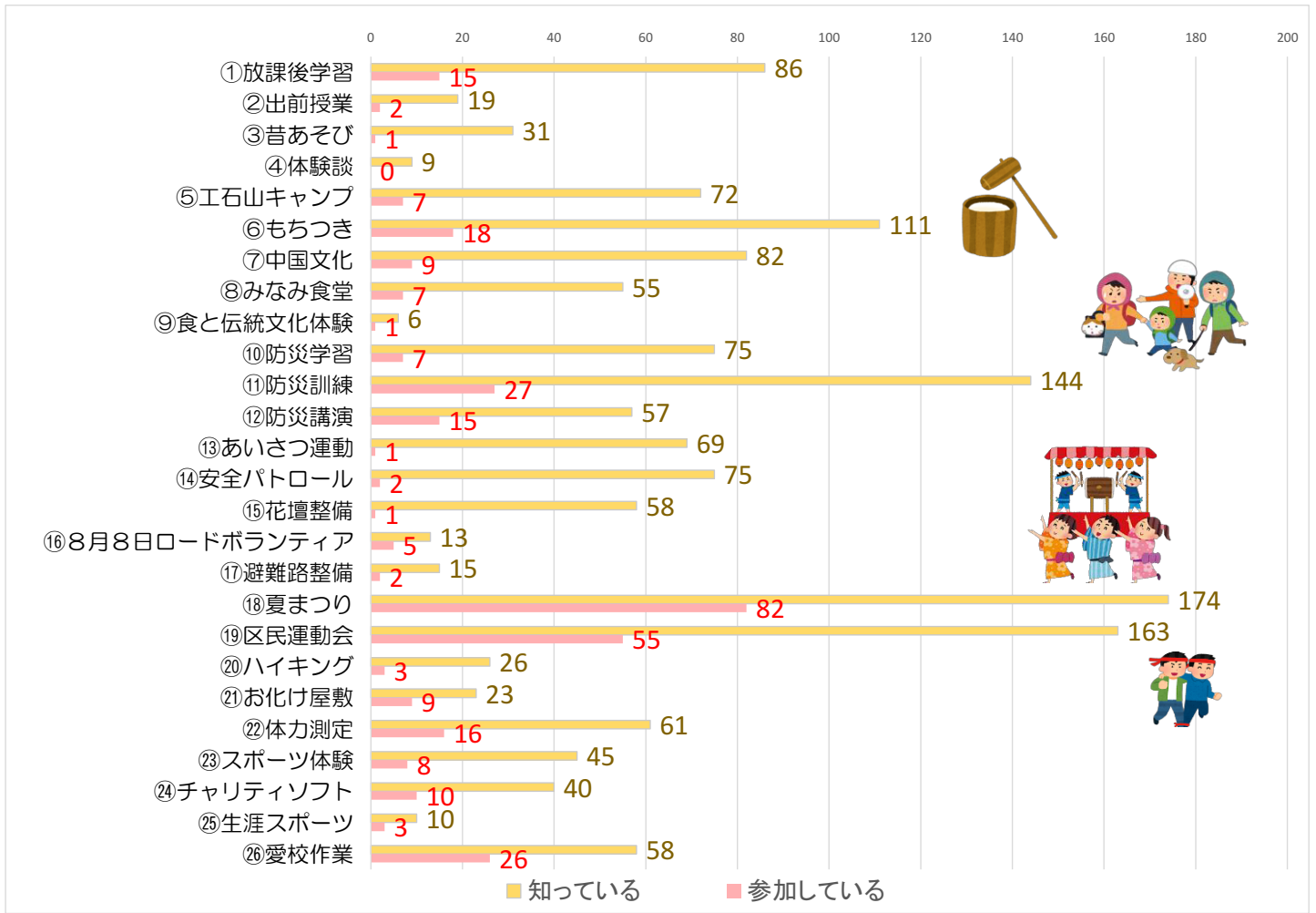
- その他回答
- ・回覧(3)
- ・パンフレット(1)

防災連合会を知るきっかけは20~40歳代は地域行事等で、50歳以上の方は人から聞いてといった回答や地域活動の中でといった回答が多い結果となりました。10歳代の方の認知度は他の世代に比べて低い結果でした。



●各種地域団体の取り組みで知っている・参加しているのはどれですか？（複数回答可）

回答者：446人



(単位：%)

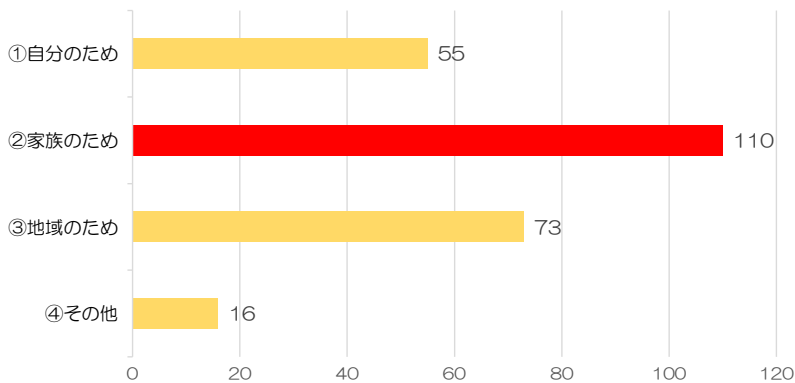
知っている活動・参加している活動	10歳代 (6人中)		20歳代 (17人中)		30歳代 (82人中)		40歳代 (121人中)		50歳代 (53人中)		60歳代 (46人中)		70歳以上 (121人中)	
	知っている	参加している	知っている	参加している	知っている	参加している	知っている	参加している	知っている	参加している	知っている	参加している	知っている	参加している
1 放課後学習	50	0	24	0	28	10	31	5	17	2	11	0	4	0
2 出前授業	0	0	6	0	6	0	8	2	0	0	4	0	1	0
3 昔あそび	33	0	6	0	11	0	12	1	6	0	2	0	1	0
4 体験談	0	0	0	0	2	0	3	0	4	0	0	0	1	0
5 工石山キャンプ	0	0	18	0	23	0	32	5	9	0	7	2	2	0
6 もちつき	33	0	24	0	33	4	34	8	26	2	15	4	13	2
7 中国文化	50	0	24	0	21	2	32	4	23	0	4	4	4	0
8 みなみ食堂	0	0	18	0	15	2	21	2	15	4	7	2	3	0
9 食と伝統文化体験	17	0	0	0	2	0	2	1	2	0	0	0	0	0
10 防災学習	17	0	6	0	20	0	26	2	23	0	11	0	7	3
11 防災訓練	33	0	12	0	28	0	36	4	34	15	37	13	31	7
12 防災講演	17	0	6	0	10	0	12	2	19	0	9	9	15	7
13 あいさつ運動	50	0	6	0	26	0	22	0	19	2	7	0	3	0
14 安全パトロール	33	0	24	0	20	0	25	0	19	2	15	2	5	0
15 花壇整備	17	0	6	0	15	0	16	0	9	0	15	2	11	0
16 8月8日ロードボランティア	17	0	0	0	1	0	4	1	4	0	2	4	2	2
17 山等の避難路整備	0	0	0	0	4	0	2	0	4	0	2	0	5	2
18 夏まつり	50	0	41	12	34	29	42	27	38	25	50	11	35	4
19 区民運動会	50	0	41	0	30	16	36	16	34	19	50	17	36	4
20 ハイキング	0	0	0	0	10	1	9	2	6	0	0	0	3	0
21 お化け屋敷	0	0	6	0	10	4	8	5	6	0	2	0	0	0
22 体力測定	17	0	0	0	28	4	22	7	9	8	4	2	2	0
23 スポーツ体験	0	0	0	0	27	4	16	3	2	2	2	0	2	0
24 チャリティソフト	0	0	18	0	9	5	17	2	9	4	4	2	2	0
25 生涯スポーツ	0	0	0	0	4	0	2	1	2	4	4	0	1	0
26 愛校作業 (グラウンド・体育館の清掃)	33	0	6	0	16	7	26	12	8	9	9	2	2	0

※「知っている」は30%以上を強調、「参加している」は10%以上を強調

夏祭りと区民運動会についてはどの年代でも認知度・参加率が高い結果でした。

30歳代・40歳代の方は、放課後学習・愛校作業など、子どもの学校行事等に関する行事に参加されている方が一定数いました。50歳代・60歳代の方は、他の世代に比べて防災訓練に参加している割合が高い結果となりました。

●参加している理由を選んでください（複数回答可）。



●その他回答

- ・知識を得る事がいざという時役立つ
- ・体育会に入っているの
- ・町内会役員として、またPTA役員として
- ・時間がない
- ・孫の手がはなれあまり知らないから。
- ・仕方なく
- ・楽しそうだから
- ・スポーツ活動のため
- ・仕事で
- ・とくがない
- ・近所なので
- ・子どものためになるから
- ・地域のつながりが分からない
- ・地区が分からない

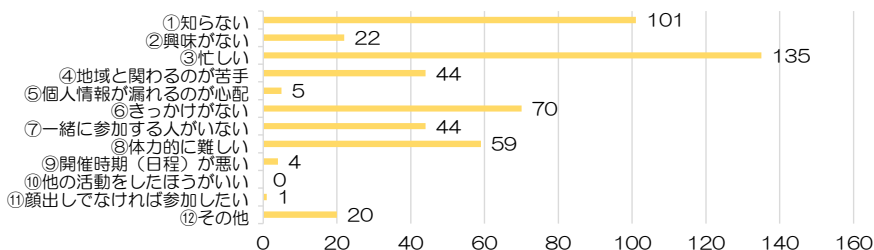
◇参加している理由	10歳代 (6人中)		20歳代 (17人中)		30歳代 (82人中)		40歳代 (121人中)		50歳代 (53人中)		60歳代 (46人中)		70歳以上 (121人中)		全世代 (446人中)	
	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)
1 自分のため	1	16.7	1	5.9	1	1.2	12	9.9	7	13.2	8	17.4	25	20.7	55	12.3
2 家族のため	0	0.0	1	5.9	40	48.8	40	33.1	13	24.5	2	4.3	14	11.6	110	24.7
3 地域のため	0	0.0	1	5.9	12	14.6	21	17.4	12	22.6	11	23.9	16	13.2	73	16.4
4 その他	0	0.0	0	0.0	2	2.4	6	5.0	2	3.8	1	2.2	5	4.1	16	3.6
5 無回答	5	83.3	16	94.1	40	48.8	66	54.5	31	58.5	31	67.4	78	64.5	267	59.9

※割合=票数/各年代の回答数×100（少数点第2位で四捨五入したもの）

参加理由を見ると、30歳～50歳代の方は参加理由が家族のためと回答された方が多い結果でした。また60歳代では地域のため、70歳以上では自分のためと回答された方が多かったです。

その他の意見でも見られましたが、PTAや体育会に携わるのをきっかけに行事に参加される例などがありそうです。

●参加していない理由を選んでください（複数回答可）。



●その他回答

- ・子どもが小さい(2)
- ・高齢者と暮らしている(1)
- ・障害があるため助けが必要(1)

◇参加していない理由	10歳代 (6人中)		20歳代 (17人中)		30歳代 (82人中)		40歳代 (121人中)		50歳代 (53人中)		60歳代 (46人中)		70歳以上 (121人中)		全世代 (446人中)	
	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)
1 忙しい	2	33.3	8	47.1	30	36.6	53	43.8	22	41.5	8	17.4	12	9.9	135	30.3
2 知らない	1	16.7	6	35.3	30	36.6	21	17.4	14	26.4	9	19.6	20	16.5	101	22.6
3 きっかけがない	2	33.3	5	29.4	26	31.7	12	9.9	5	9.4	6	13.0	14	11.6	70	15.7
4 一緒に参加する人がいない	2	33.3	1	5.9	9	11.0	13	10.7	5	9.4	6	13.0	8	6.6	44	9.9
5 地域と関わるのが苦手	1	16.7	0	0.0	12	14.6	16	13.2	6	11.3	6	13.0	3	2.5	44	9.9
6 個人情報漏れるのが心配	0	0.0	0	0.0	1	1.2	2	1.7	1	1.9	0	0.0	1	0.8	5	1.1
7 興味がない	1	16.7	2	11.8	3	3.7	9	7.4	3	5.7	3	6.5	1	0.8	22	4.9
8 体力的に難しい	0	0.0	1	5.9	3	3.7	5	4.1	3	5.7	7	15.2	40	33.1	59	13.2
9 開催時期(日程)が悪い	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.2	2	1.7	4	0.9
10 他の活動をしたほうがいい	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11 顔出してなければ参加したい	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	0.2
12 その他	1	16.7	1	5.9	5	6.1	3	2.5	1	1.9	4	8.7	5	4.1	20	4.5

※割合=票数/各年代の回答数×100（少数点第2位で四捨五入したもの）

参加できない理由は「忙しい」という理由が全世代の中で一番多い結果でした。中でも10歳代から50歳代までの方は、11項目の中で一番多い票数でした。70歳以上の方で多かったのは「体力的に難しい」という意見でした。

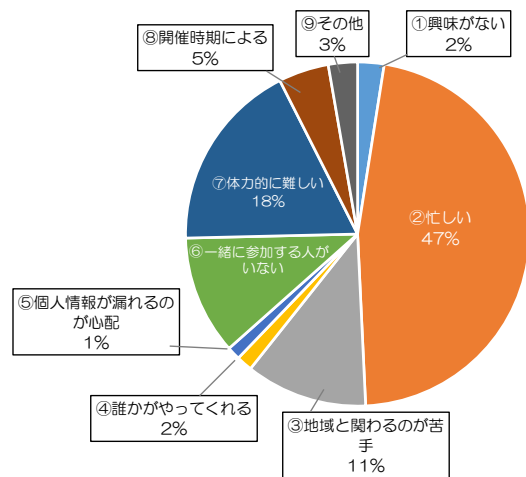
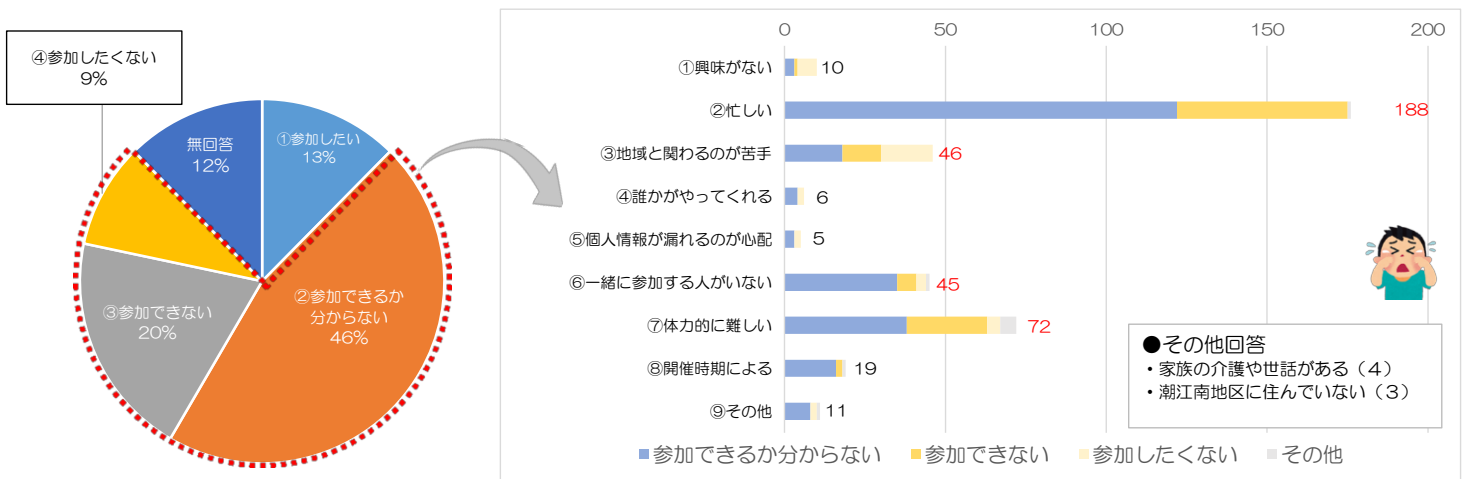
また、若い世代を中心に「知らない」「きっかけがない」「一緒に参加する人がいない」といった回答をされた方が比較的多かったことから、活動やイベント等の周知や広報の方法等の工夫で、協力・参加してもらえる方を増やせる可能性があります。

	10歳代 (6人中)		20歳代 (17人中)		30歳代 (82人中)		40歳代 (121人中)		50歳代 (53人中)		60歳代 (46人中)		70歳以上 (121人中)		全世代 (446人中)	
	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)
①参加したい	1	16.7	4	23.5	3	3.7	13	10.7	8	15.1	9	19.6	18	14.9	56	12.6
②参加できるか分からない	1	16.7	8	47.1	48	58.5	54	44.6	28	52.8	21	45.7	48	39.7	208	46.6
③参加できない	3	50.0	2	11.8	16	19.5	26	21.5	11	20.8	10	21.7	22	18.2	90	20.2
④参加したくない	1	16.7	1	5.9	11	13.4	10	8.3	8	15.1	6	13.0	5	4.1	42	9.4
無回答	0	0	2	11.8	4	4.9	18	14.9	1	1.9	1	2.2	30	24.8	56	12.6

割合=票数/各世代の回答数×100 (少数点第2位で四捨五入したもの)

今後の計画策定に係る説明やイベント等に参加されたいと回答された方は、全体の約12%と1割以上の回答がありました。また、参加したいと回答した割合を年代ごとに見ても、30歳代を除き、それほど差が見られませんでした。参加できるか分からないと回答された方は全体の約半分という結果でした。

参加できるか分からない・参加できない・参加したくないを選ばれた理由をお答えください（複数回答可）。



	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全世代		
	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	票数	割合 (%)	割合 (%)	
①興味がない	1	16.7	2	2.4	2	3.8	1	8.3	10	2.2
②忙しい	2	33.3	9	52.9	58	47.9	68	56.2	26	21.3
③地域と関わるのが苦手	1	16.7	0	0	13	10.7	16	13.2	3	2.5
④誰かがやってくれる	0	0	1	1.2	2	1.6	2	1.7	0	0
⑤個人情報が漏れるのが心配	0	0	1	1.2	2	1.6	1	0.8	0	0
⑥一緒に参加する人がいない	1	16.7	0	0	9	7.4	13	10.7	5	4.1
⑦体力的に難しい	0	0	4	4.9	3	2.4	4	3.3	9	2.0
⑧開催時期による	0	0	4	4.9	3	2.4	5	4.1	2	0.5
⑨その他	0	0	1	1.2	3	2.4	2	1.7	1	0.8

今後の計画策定会議等への説明会やイベントへの参加については30歳代から40歳代を中心に、忙しいと回答された方が多い結果でした。今後は地域と関わるのが苦手な方でも参加しやすいイベント、知り合いと気軽に参加できる関係づくり、体力に自信がないお年寄りでも参加できる方法や活動等を検討することで、地域活動に協力していただける方を増やすことができるかもしれません。

アンケートでいただいたご意見の一部紹介

潮江南地域が今後どうなって欲しいと思いますか？※内容の近いもの等一部省略しております。



子どもたち（地域）
の学習支援



子どもたち（地域）
の生活支援



地域防災への
取り組み



地域安全・環境整備



地域コミュニティの
強化



地域住民の健康増進

子どもたちの学習支援・生活支援

- 子供の教育に力を入れている地域
- 高齢者の方達の生活の知恵を知る機会
- 子供達への自転車の乗り方の指導も頻回にあればいいと思う



- 子どもが安全で安心して生活できる地域
- 地域みんなで子育てができる街
- 子供たちが遊んでいるのを地域の大人が見守り、声掛けも出来る様なまち
- 助け合える街/子供の交通・安全に目配せできるまち
- 核家族が多い中、地域で子育ての何らかの手助けが出来る事があれば良いと思う
- お年寄の認知症予防や孤独死の防止にもつながる活動があればいい（子どもの見守りを通じてなど）
- 地域の子供達を知ることで、子供達の非行防止や虐待に気付くことができると思う

- 子ども中心としたイベントや親子、多世代が参加しやすいイベントを開催してほしい
- 校区外の子供達もきちんと呼んでほしい
- いつも学校の校門に朝立ってくださっている方々本当に感謝しています



地域安全・環境整備

- 大きな道路は通りましたが、昔から道が狭く、自転車、徒歩以外では、動きにくい
- 歩道をもっと美化、整備してほしい
- 交通量も多いので、子どもが安心して歩ける歩道になってほしい
- 車道と歩道の境界がない道路がたくさんあるので整備してほしい
- 高見のバス通りはスピードを出す車や、パトカーがいて、こわい時がある
- 通学路など高い塀があったり、せまい道で消防車や救急車が入れない道がある
- 避難する時に道路が通れないかもしれない
- 交通ルールが守られて安全に生活出来る様な街になってほしい



- タバコやゴミのポイ捨てが多いので、なくなりきれいな街になれば良い
- 川の水がきれいになると良い
- ホタルの再来等があればいい
- 犬の散歩中に道の汚さが目につく（フンを取らない人がいる）
- 車道と歩道の境界がない道路がたくさんあるので整備してほしい



地域住民の健康促進（福祉）

- 困った時等気軽に話ができたり、助け合ったりできるような場があればいい
- 老人のいこいの場がもっとあればいい
- こどもや独居の人たちのための食堂
- 顔見知りが増え、何かの時は助けて欲しい
- 近所同士が顔見知り子どもを地域の大人が見守り・声かけができるまち
- 子供、お年寄、動物、弱者にやさしいまち
- 多世代と一緒に遊んで、泣いて、笑って、今いる場所を好きになれるような地域



- 地震や台風の時に避難場所へ行く時、お世話をして下さる方がいればありがたい
- 高齢で耳が聞こえにくいため、人との関わりに入っていくにくく、防災やその他行事に参加できない
- お年寄りだけでなく、障がいのある人達への配慮や知識を持ってもらいたい
- 地域猫も大事にしてほしい/理解が少なくトラブル



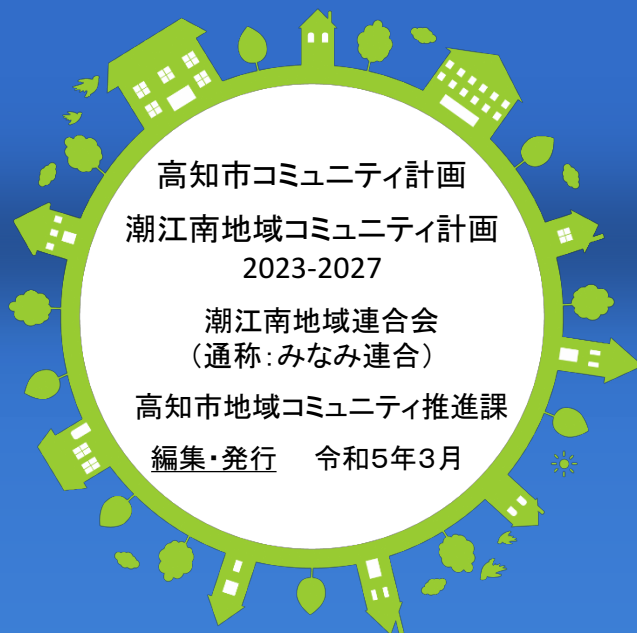
地域コミュニティの強化

- 地域にどのような人がいるか、仲良くなれるかは分かりませんが、あいさつは良いと思います
- 他の人と会話する機会がなく、今は活躍の場が少なく困っています
- 住居が増え、知らない人ばかりなのであいさつができるまち
- あいさつができ、近所付き合いが気軽にできるまち
- 学童に出会って挨拶が交わせる街、「いってきます」「おはようございます」「ありがとう」
- 朝、夕歩いてあいさつはこちらがないと大人、子どもに関わらず聞くことがありません
- ここはみんなの挨拶どおりを設定できれば！



- 他の人と会話する機会がなく、今は活躍の場が少なく困っています
 - 昔から住んでいる方のグループには参加しにくくあいさつもしづらい
 - 若い世代との交流がなく、不安も感じるが近所付合（コミュニケーション）を広めれば良い
 - 今迄もこれからも高齢化に伴い高齢者がどんどん増えていきます 独居老人への関わり方/他の地域の活動状況を共有化できるようにお願いしたい
 - 高齢となった今、協力できない事に不安を感じる。知らない人でも、会話ができるような環境にしてもらえると、行事等、参加しやすいと思う
 - 小さい子供さんから高齢の方もいるので、防災や災害、地震があった時などは地域のみんで協力して助けたい
- そのため日頃から近所の人たちとコミュニケーションや地域のイベントに積極的に参加したい
これからは若い方たちの力も必要だと思う

ご協力ありがとうございました。



高知市コミュニティ計画
潮江南地域コミュニティ計画
2023-2027

潮江南地域連合会
(通称:みなみ連合)

高知市地域コミュニティ推進課

編集・発行 令和5年3月

